

取扱説明書

LG CineBeam AI ThinQ

DLPプロジェクター

このたびはLGプロジェクターをお買い求めいただきまして、
誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

HU715QW (HU715QW-GL)



* M F L 7 1 8 2 5 1 3 3 *

(2205-REV01)

目次

3	準備
11	設置
11	天井に設置する
12	スクリーンサイズごとの投影距離
14	スクリーンのフォーカス(ピント)を調整する
15	ケンジントンセキュリティシステム
16	マジック・ライティングリモコンの使用
16	リモコンに電池を挿入する
17	リモコンの機能を確認する
21	マジック・ライティングリモコンの登録方法
21	マジック・ライティングリモコンの再登録方法
22	マジック・ライティングリモコンの使用
24	機器の接続
24	HDMI機器に接続する
25	デジタルアンプに接続する
26	モバイル機器に接続する
26	モバイル機器の接続例
27	安全上のご注意
39	故障かな？
39	プロジェクターの安全性チェック
40	トラブルシューティング
45	情報の確認
45	仕様
46	HDMI対応解像度
50	Wireless モジュール (LGSBWAC03)仕様
52	ライセンス
53	オープンソースソフトウェア通知情報
54	その他の仕様
55	記号

本マニュアルは、一般向けに作成されており、お客様がご購入された製品とは異なる画像や内容が含まれる場合があります。

本マニュアルは、当社の都合により、変更する場合があります。

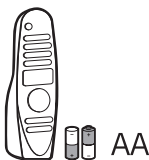
準備

本書に書かれているイラストはイメージです。実際の製品とは若干異なる場合があります。

付属品

箱を開けた際は、付属品をご確認ください。万が一付属品が不足している場合は、お求めの販売店にお問い合わせください。

付属品は事前の予告なく変更されることがあります。



マジック・ライティングリモコン
単三形電池2個



取扱説明書



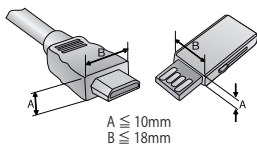
電源コード

注意

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。(アース接続のない製品を除く)

4 準備

- HDMIケーブルの接続または、USBケーブル、USBフラッシュドライブの接続の際は、幅18mm以下、高さ10mm以下の製品を使用してください。USBケーブルやUSBフラッシュドライブがプロジェクターのUSB端子に合わない場合は、USB 2.0対応の延長ケーブル等を使用してください。



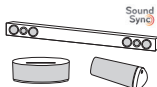
- 同時に2つのUSBデバイスを接続する場合、ベゼルの厚さが8.5mm以下のデバイスを使用してください。
- HDMIケーブルはHDMIロゴ付きの認証済みケーブルを使用してください。
- 認証済みのHDMIケーブルではない場合、画面が表示されなかったり、接続エラーが起きることがあります。
(推奨のHDMIケーブルのタイプ)
 - ウルトラハイスピードHDMI®/™ケーブル (3m以下)

付属品以外に必要なもの

プロジェクターを使用する際、使用する機能や環境により、以下のアクセサリ部品が必要になることがあります。アクセサリ部品を購入する際は、製品をお求めいただいた販売店または、電気店、オンラインショッピングサイト等にお問い合わせください。



プロジェクター用の
スクリーン



LGオーディオ
デバイス

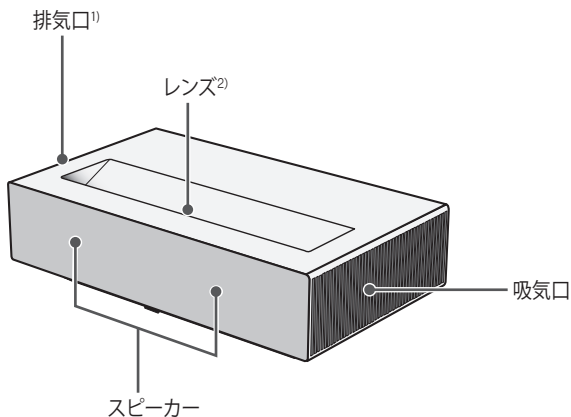


HDMIケーブル

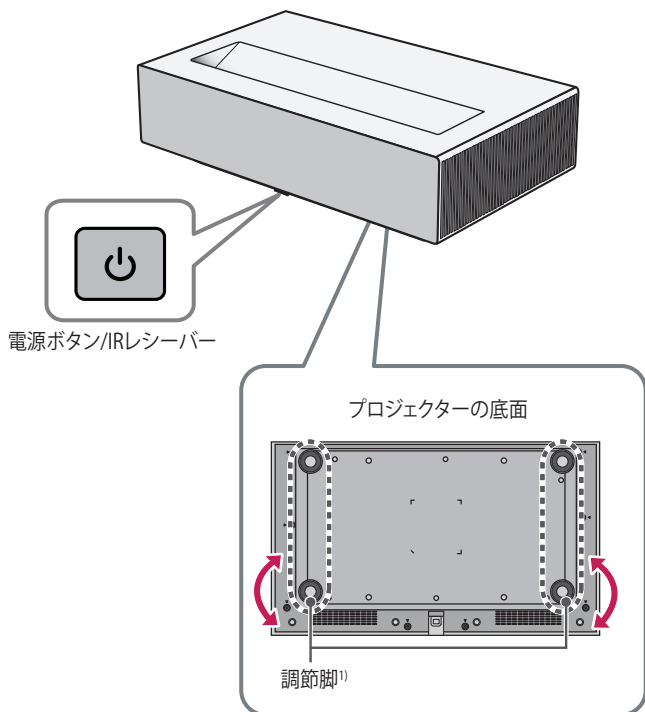


光ケーブル

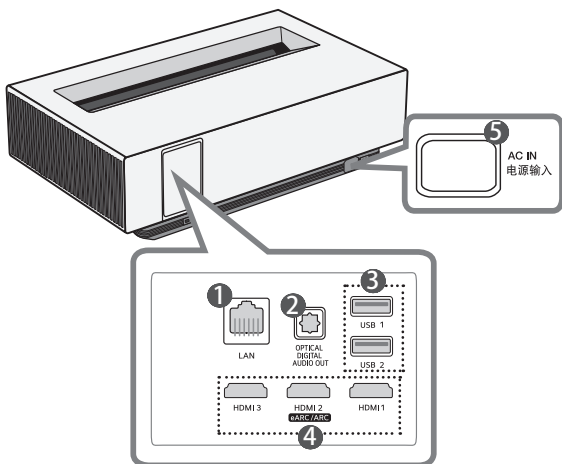
各部の名称と位置



- 1) 通気口付近は温度が上昇するため、通気口付近にものを置いたり、通気口から出る風を浴びないようにしてください。
- 2) レンズには触れないでください。レンズが損傷する可能性があります。
(先のとがったものをレンズに近づけないでください)




1) 調節脚を左右に回して、角度を調整します。



番号	説明
①	LAN 端子
②	OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT 端子
③	USB 端子
④	HDMI 入力端子
⑤	AC IN 电源输入 (AC入力端子)


電源ボタンの使用



プロジェクターは、本製品の  電源ボタンでオン/オフにすることができます。
– 短押しでオンになり、長押しですべての機能と画面がオフになります。

ヒント

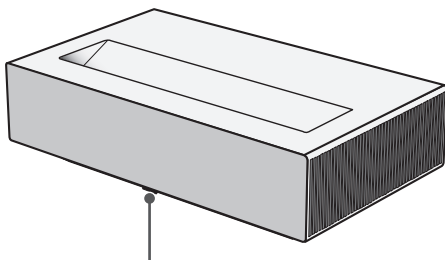
- 電源ボタンの形状や位置は、プロジェクターの機種によって異なります。
- 初めて電源を入れたとき、プロジェクターの初期化に約1分かかることがあります。

OSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューの調整

プロジェクターがオンのときに  電源ボタンを1回押すと、画面下に電源、音量コントロール、外部入力ソースメニューが表示されます。ボタンを長押しすると、メニューの選択や変更を行うことができます。

	電源をオフにします。
	入力元を変更します。
+、-	音量を調節します。

LED電源インジケータ



LED電源インジケータ

LED電源インジケータ	
赤色	電源スタンバイ状態
赤色(点滅)	電源を入れています
オフ	電源オンで作動中

設置

天井に設置する

警告

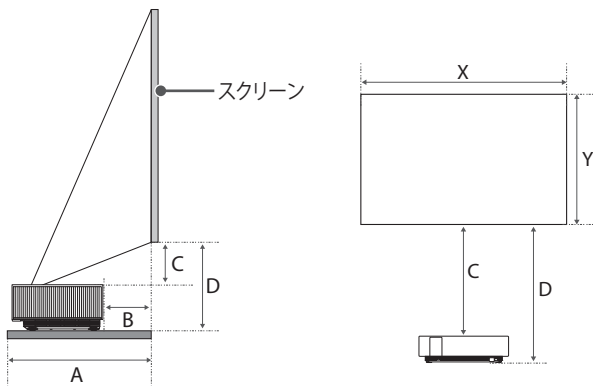
製品を天井に設置するときは、以下をよくお読みいただき、プロジェクターの落下を防止してください。

- 専門の設置サービス業者を通して、製品を設置することをお勧めします。
(天井に設置する場合は、プロジェクターのPJTモード設定を変更してください)
- 機器を取り付けるときは、接着剤、潤滑剤、油類などを使用しないでください。
- ネジは過度の力で締め付けしないでください。ネジ接合部の破損によりプロジェクターが落下するおそれがあります。
- 標準ネジ: M4 x 8mm, M6 x 10mm, 1/4-20 UNC x 5mm
(適用されるネジの種類は、モデルにより異なる場合があります。)
- 推奨トルク: 5~8kgf・cm
- 注意事項を遵守しないと、製品が落下により事故(死亡や重大なケガ)、財産の損害、本製品の破損につながるおそれがあります。

スクリーンサイズごとの投影距離

- 1 プロジェクターは安定した水平な場所に設置してください。また、接続機器はプロジェクターの近くに配置してください。
- 2 プロジェクターは投影面から適切な距離に設置してください。プロジェクターと投影面の距離によって、投影される映像のサイズが決まります。
- 3 レンズが投影面に対して、なるべく平行になるようにプロジェクターを配置してください。プロジェクターを平行に設置できない場合、映像に歪みが発生します。どうしても平行に設置できない場合は、エッジ調整機能で調整することができます。
- 4 プロジェクターと接続機器の電源コードをコンセントに接続します。

上向き投影の比率:118%



スクリーンサイズ		スクリーン高さ (X) x スクリーン幅 (Y)	A	B	C	D
インチ	mm	mm	mm	mm	mm	mm
80	2032	1771 x 996	433	118	141	298
90	2286	1992 x 1121	483	168	164	321
100	2540	2214 x 1245	532	217	186	343
110	2794	2435 x 1370	582	267	209	366
120	3048	2657 x 1494	632	317	231	388


投影距離は設置状況に応じて異なります。

✔ ヒント

- 映像が歪んで投影される場合は、スクリーンが正しく設置されているか確認してください。

スクリーンのフォーカス(ピント)を調整する

投影面に映像が表示されたら、表示された映像のフォーカスが合っているか確認してください。

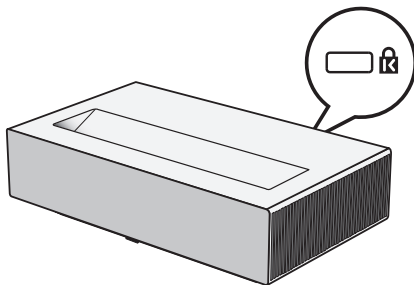
- 1 リモコンの (設定) ボタンを押して、[フォーカスの調整]を起動してください。
- 2 リモコンの左/右ボタンで、ピントを調整することもできます。投影画面の左右のピントが合っている時に、最も正確にピント調整ができます。ピントを調節しているときは、プロジェクターを動かさないでください。

ヒント

- 製品を室温で使用した後、内部温度が低い場合、電源を入れると、フォーカスがぼやけることがありますが、時間の経過と共に改善されます。
 - このデフォーカスは、低温環境で発生する一時的な現象であり、製品の性能や寿命に影響を及ぼすことはありません。
-

ケンジントンセキュリティシステム

- 本製品は、盗難防止用のケンジントンセキュリティ標準コネクタが付いています。ケンジントンセキュリティシステムのケーブルを、下記のように接続してください。
- ケンジントンセキュリティシステムの詳細な取り付けおよび使用手順については、ケンジントンセキュリティシステムセットに付属の取扱説明書を参照してください。
- ケンジントンセキュリティシステムは、別売です。
- ケンジントンとは
ケンジントンは、ノートPC、その他の電子機器の盗難防止用のセキュリティ製品を提供する会社です。
Webサイト：<http://www.kensington.com>



マジック・ライティングリモコンの使用

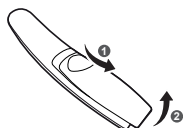
- 十分安全を考慮し、機器本体が見えるところで操作をお願いします。

リモコンに電池を挿入する

プロジェクターの使用中に電池残量不足のメッセージが表示されたら、電池を交換してください。

1.5Vの単四アルカリ乾電池を使用してください。2本の電池を新しい電池に交換し、リモコン内部の方向指示に従って挿入してください。

- 1 リモコン背面の電池カバーを下向きにスライドさせて取り外してください。
- 2 +、-の極性に一致するように、電池を挿入してください。
- 3 電池カバーを閉じてください。

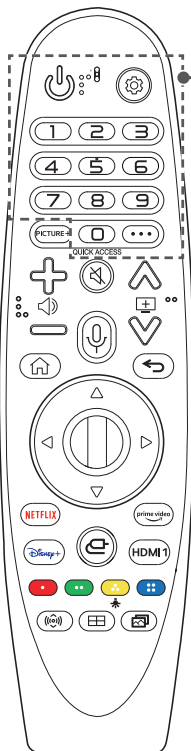


注意

- 新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。

リモコンの機能を確認する

*: ボタンを使用するには、3秒以上長押ししてください。



 (電源)

プロジェクターの電源をオンまたはオフにします。

 (クイック設定)

クイック設定にアクセスします。

 (クイック設定)*

[詳細設定]メニューを表示します。

数字ボタン

数字を入力します。

 *

[クイックヘルプ]にアクセスします。

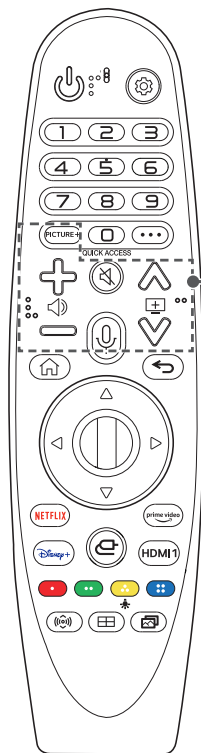
QUICK ACCESS*

クイックアクセスを編集します。

(クイックアクセスは、数字ボタンを長押しすることにより、指定されたアプリに入ることができる機能です。)

... (その他の機能)

リモコンのその他の機能を表示します。



PICTURE+

メニューは、[Iris Mode]/[Adaptive Contrast]/[HDRトーンマッピング]/[シネマスクリーン]/[TruMotion]の順に表示されます。

入力信号またはビデオモード設定により、メニューが無効になったり、画面に表示されなかったりする場合があります。

設定可能な項目は、モデルによって異なります。

- [HDRトーンマッピング]: 信号がHDR10でないとき
- [シネマスクリーン]: 入力信号が24Hzでないとき/[映像モード]が[ゲームオプティマイザ]であるとき/[TruMotion]に設定されているとき
- [TruMotion]: 入力信号がHDMI-PCであるとき/[映像モード]が[ゲームオプティマイザ]であるとき



音量を調節します。

🔇 (ミュート)

消音します。

🔇 (ミュート)*

[ユーザー補助]メニューを表示します。



音声認識機能を利用するには、ネットワーク接続が必要です。

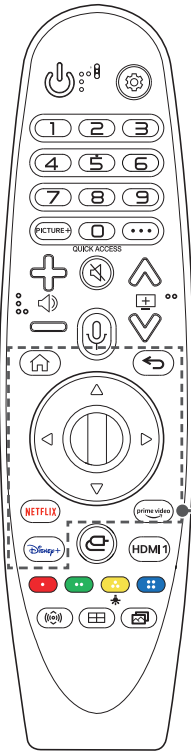
おすすめのコンテンツを確認します。(一部のおすすめサービスは、一部の国では使用できない場合があります。)



ボタンを押したまま話すと、音声認識機能を使用することができます。



前/次のページに移動します。



ホームメニューを表示します。



最後に使用したアプリを起動します。



前の画面に戻ります。



オンスクリーンディスプレイをクリアし、最後の入力表示に戻ります。

△ ▽ ◀ ▶ (上/下/左/右)

メニューをスクロールするとき、上下左右のいずれかのボタンを押します。ポインターの使用中に△ ▽ ◀ ▶ボタンを押すと、ポインターが画面から消え、マジック・ライティングリモコンは通常のリモコンのように機能します。ポインターをもう一度画面に表示させるときは、マジック・ライティングリモコンを左右に振ってください。

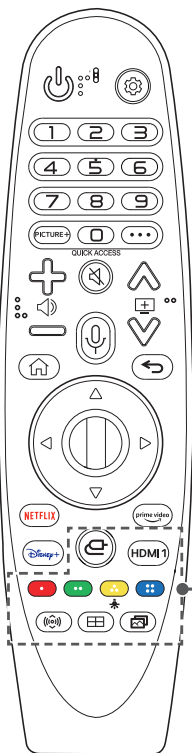
⊙ ホイール(OK)

メニューを選択するとき、ホイールボタンの中央を押します。ホイールボタンを使用して、カーソルまたはメニューを移動できます。

NETFLIX, **prime video**, **Disney+** ボタン


NETFLIX, **prime video**, **Disney+** を実行します。

コンテンツ側の都合、仕様の変更等により、予告なく使用できなくなる場合があります。



 (入力)

入力元を変更します。

 (入力)*

[ホームダッシュボード]にアクセスします。

HDMI 1

入力ソースを[HDMI 1]に変更します。





一部のメニューの特定の機能にアクセスします。



暗い中でもリモコンを使用できるように、リモコンボタンが点灯します。

リモコンを動かさないと、約5秒後にポインターが消え、リモコン照明がオフになります。

照明機能がオンの状態で出荷されます。 ボタンを5秒以上長押しすると、 (電源) ボタンが2回点滅し、照明機能をオンまたはオフに切り替わります。

 (サウンドモード)

[サウンドモード]を変更します。

 (設置)

[フォーカスの調整]を実行します。

 (映像モード)

[映像モード]を変更します。






マジック・ライティングリモコンの登録方法

マジック・ライティングリモコンを使用するために、プロジェクターとペアリングする必要があります。

使用する前に、以下に従い、マジック・ライティングリモコンをペアリングしてください。

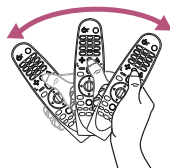
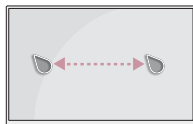
- 1 マジック・ライティングリモコンに電池を入れ、プロジェクターの電源を入れます。
 - 2 マジック・ライティングリモコンをプロジェクターに向け、リモコンの⑩ホイール(OK)を押します。
- マジック・ライティングリモコンが正しく登録できなかった場合は、プロジェクターの電源を一度オフにしてから再度オンにして、再試行します。

マジック・ライティングリモコンの再登録方法

- 1  ボタンと  ボタンを5秒間同時に押して、プロジェクターとマジック・ライティングリモコンのペアリングを解除します。
 - 2 プロジェクターに向けて  ホイール(OK) ボタンを押して、マジック・ライティングリモコンを再登録します。
- リモコンをプロジェクターに向けて持ち、 と  (クイック設定) ボタンを指示が出るまで5秒以上同時に押します。以前に登録したリモコンの登録を解除してから、再度登録します。

マジック・ライティングリモコンの使用

- マジック・ライティングリモコンを左右に振る、または、プロジェクターに向けながらホイールを回すと、プロジェクター画面にポインターが表示されます。リモコンを希望の方向に動かすと、ポインターがその動きに追随します。ポインターを希望の位置に動かし、**①**ホイール (OK) ボタンを押して、機能を実行します。



- ポインターの速度とサイズを、画面に表示されている間に設定できます。
⚙️(クイック設定) → ⋮ → [機器設定] → [システム] → [追加システム設定] → [ポインター設定]
 - [ポインター表示速度]: ポインターの速度を設定します。
 - [ポインタサイズ]: ポインターのサイズを選択します。
- ポインターを一定時間使用しない場合、ポインターが消えます。ポインターが画面から消えたときは、マジック・ライティングリモコンを左右に振ってください。
また、上/下/左/右ボタンを押しても、ポインターが消えますが、この場合は通常のリモコンとして動作します。
- ポインターが滑らかに反応しない場合は、ポインターを画面の端に移動させることでリセットできます。
- このリモコンは、指定された受信範囲内(10 m)でご使用ください。デバイスを受信範囲外で使用した場合や、受信範囲内に障害物がある場合、通信障害が起きる可能性があります。
- 付属品によっては通信障害が起きる可能性があります。電子レンジやワイヤレスLANなどの機器は、マジック・ライティングリモコンと同じ周波数帯域(2.4 GHz)で動作しています。これにより通信障害が起きる可能性があります。
- 衝撃がマジック・ライティングリモコンの誤動作を引き起こす可能性があります。
- マジック・ライティングリモコンを使用するときは、近くの家具、電気機器、他の人に当てないようにしてください。
- ワイヤレスルーター(アクセスポイント)がプロジェクターから20 cm以内の距離にある場合は、マジック・ライティングリモコンが正しく機能しないことがあります。ワイヤレスルーターは、プロジェクターから20 cm以上離してください。

機器の接続


さまざまな外部デバイスをプロジェクターに接続できます。

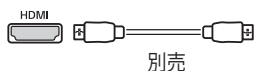
HDMI機器に接続する

HDMIケーブルで、DVD/ブルーレイディスクプレイヤーやパソコン、ノートパソコンなどを接続して、表示させることができます。

HDMIケーブルでデジタル接続して、高品質な映像とサウンドをお楽しみいただけます。



プロジェクターのHDMI(HDMI入力端子)と、接続機器のHDMI出力端子をHDMIケーブルで接続します。映像、音声データの両方が同時に出力されます。

-  (入力) → [ホームダッシュボード] → [入力] → [HDMI 1]/[HDMI 2]/[HDMI 3]



ヒント

ARC (オーディオリターンチャンネル)

- SIMPLINKとARCをサポートする外部オーディオ機器を接続する際は、 端子に接続する必要があります。
- SIMPLINKとARCをサポートする外部オーディオ機器とプロジェクターをウルトラハイスピードHDMI®/TMケーブルで接続する場合は、光ケーブルやオーディオケーブルの接続は必要ありません。

PC/ノートパソコンの接続

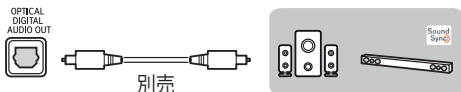
- プロジェクターはプラグアンドプレイに対応しています。PCは自動的にプロジェクターを認識するので、デバイスドライバーをインストールする必要はありません。

デジタルアンプに接続する

光デジタルケーブルで、デジタルアンプの光デジタル音声入力端子とプロジェクターの**OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT**端子を接続します。デジタルコンバーター付きのアンプの出力は、オーディオフォーマットの設定が必要です。

プロジェクター、ホームシアター、外部オーディオデバイスのスピーカーが同時に作動しているときは、エコーが発生します。

- ⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [音声] → [スピーカー設定] → [有線スピーカーの使用] → [光デジタル音声出力デバイス]



✓ ヒント

- 接続するオーディオデバイスの設定は、オーディオデバイスの取扱説明書を参照してください。
- 本機を別のデバイスに接続する際は、すべてのデバイスの電源をオフにしてください。
- 本製品のオーディオ出力は広帯域のオーディオ帯域幅を持つため、レシーバーの音量をあらかじめ適切に調整する必要があります。予期しない高い周波数でスピーカーが損傷することがあります。
- プロジェクターの**OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT**端子をデジタルアンプの光デジタル音声入力端子に接続し、同時にプロジェクターのAV IN端子をデジタルアンプのアナログオーディオ出力端子に接続している場合、閉ループにより音の揺れが生じることがあります。これを避けるには、2つのうちのいずれかの接続を取り外してください。
(これはホームシアターのデバイスも該当します)

モバイル機器に接続する

- Ⓒ (入力) → [ホームダッシュボード] → [入力] → [HDMI 1]/[HDMI 2]/[HDMI 3]

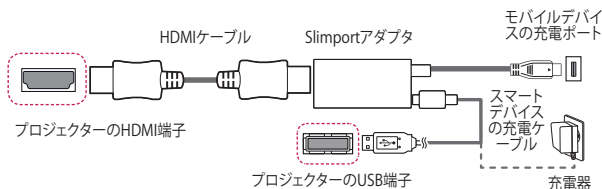
モバイル機器とプロジェクターのHDMI入力端子を各種ケーブルやアダプターで接続して、接続した入力モードを選択します。任意のHDMI入力端子共に接続できます。

ケーブル接続する条件や指示事項は接続デバイスの取扱説明書を参照するか、製造メーカーにお問い合わせください。

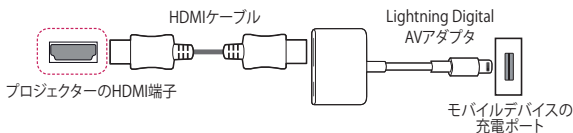
サポートされるモバイルデバイスは各製造元の事情により変更される場合があります。

モバイル機器の接続例

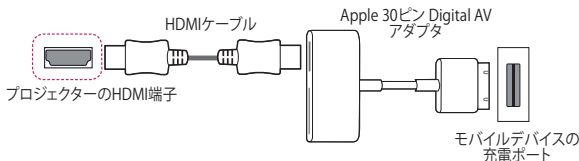
Slimport対応デバイス



Apple Lightning Digital AVアダプタ対応デバイス



Apple 30ピン Digital AVアダプタ対応デバイス



- イラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ケーブル、アダプターは別売です。

安全上のご注意

安全上の注意事項を正しく守り、事故が発生したり、本製品を誤って使用したりすることがないようにしてください。

以下の簡単な安全上のご注意に従うことで、お子様の怪我を防ぐことができます。

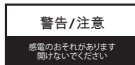
既存のプロジェクターを保管または移動する際と同じ注意を払ってください。

- 下記のとおり、安全に関する注意事項には「警告」と「注意」の2種類があります。

⚠ 警告: 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うおそれがある警告事項が記載されています。

⚠ 注意: 取り扱いを誤ると、ケガや製品の損傷を招くおそれがある注意事項が記載されています。

- 取扱説明書をよく読み、必要な際に参照できるよう保管しておいてください。



この記号は、製品の筐体内に、人体に感電する恐れのある、絶縁されていない危険な電圧が存在することをユーザーに警告することを目的としています。



この記号は、装置に付属の資料に、操作および保守（サービス）に関する重要な指示があることをユーザーに警告することを目的としています。

警告/注意

- 火災や感電の危険を避けるために、本製品を雨や湿気にさらさないでください。

本ページ「安全上のご注意」をよくお読みいただき、すべての警告に従ってください。

屋内設置

警告

プロジェクターおよびリモコンを次の場所に設置しないでください：

- 直射日光が当たる場所
- 浴室など、湿度の高い場所
- 可燃物やストーブなど、火気または熱源の近く
- キッチンや加湿器の近くなど、油、油煙、水蒸気などが直接かかる可能性がある場所
- 花瓶や水槽など、液体を含むものの近く
- 埃の多い場所、または、風や雨にさらされる場所
- エアコンの下、または、エアコンからの風が直接あたる場所
- 可燃性スプレーなどの可燃物の近く
- 取付具が設置されていない食器棚、本棚、キャビネットまたは、ペットが触れる可能性がある場所
- 感電や火災などの重大な事故、または誤作動、変形、破損、落下など故障につながるおそれがあります。

外部デバイスを接続するときは、プロジェクターが落下しないように注意してください。

- ケガまたはプロジェクターの破損に繋がる可能性があります。

プロジェクター内部の温度上昇を防ぐために、次の注意事項をお守りください。

- 通気口を壁から30cm以上離して設置してください。
- 本棚やクローゼットなど、換気できない場所にプロジェクターを設置しないでください。
- カーペットまたはクッションの上にプロジェクターを設置しないでください。
- テーブルクロス、カーテンなどにより、通気口が塞がれていないことを確認してください。
- 内部温度の上昇によって、火災が発生する可能性があります。

油、油煙にさらされる可能性のある壁または天井に製品を設置しないでください。

- 製品が落下して破損またはケガを負う可能性があります。

設置されたプロジェクターにお子様がぶら下がったり、乗ったりしないようにしてください。

- プロジェクターの落下によって、重大なケガや死亡につながるおそれがあります。

△ 注意

プロジェクターを移動させるときは、電源スイッチをオフにして、電源コードなど各種接続したケーブル類をすべて取り外してください。

- プロジェクターまたはケーブル類が破損し、火災や感電につながるおそれがあります。

不安定な棚、傾いた場所、振動する場所、プロジェクターの重量を支えられない場所、テーブルクロスなどの布地の上に、プロジェクターを設置しないでください。

- プロジェクターが落下または横転によって、ケガを負ったり、プロジェクターの破損、故障の原因になるおそれがあります。

電源コード、プラグの上を人が通る場所にプロジェクターを設置しないでください。

- 電源コードやプラグの破損は、火災、感電につながるおそれがあります。

プロジェクターは壁から離して設置してください。

- ケーブルの接合部が破損したり、プロジェクター、ケーブルが破損する可能性があります。

キャビネットまたは棚にプロジェクターを設置するときは、プロジェクター下部の前端が外に出ないようにしてください。

- 不安定な場所への設置は、プロジェクターの落下による、ケガやプロジェクターの破損につながるおそれがあります。

使用中

⚠ 警告

落雷時は、電源コードを取り外し、アンテナ線に触れないようにしてください。

- 感電するおそれがあります。

ガス管からガスが漏れている場合は、絶対にコンセントには触れず、窓を開けて換気してください。

- 火花により、火災または火傷を引き起こす可能性があります。

ゲーム機などの外部デバイスを接続するときは、十分な長さのケーブルで接続してください。

- プロジェクターの横転等により、ケガを負ったり、プロジェクターの破損、故障の原因になるおそれがあります。

金属物質または金属が素材の物を、プロジェクターに触れさせないでください。

- 感電や、プロジェクターの故障の原因になるおそれがあります。

コイン、ヘアピン、鉄の小片を含む金属類、紙、マッチなどの可燃物をプロジェクターに入れしないでください。

- 感電や、火災の原因になるおそれがあります。

リモコン用の電池を交換するときは、お子様が電池を飲み込まないように注意し、電池をお子様の手の届かない場所に保管してください。

- お子様が電池を飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。

製品の梱包に使用されるプラスチックは、お子様の手の届かない場所に保管してください。

- お子様が誤用すると、窒息する可能性があります。

プロジェクターの起動中、電源をオフに切り換えた直後は、通気口およびその周辺には触れないでください。

- プロジェクターの使用中は高温になることがあります。排熱によって高温になる通気口付近に触れると火傷する可能性があります。

プロジェクターから照射される光を直接のぞきこまないでください。

- 目を傷めるおそれがあります。

プロジェクターを分解、改造しないでください。

- 分解、改造によるプロジェクターの故障、破損または事故、負傷は保証の対象外となります。検査、調整、修理は弊社カスタマーセンターにご相談ください。

△ 注意

プロジェクターの近くで高電圧の電子機器（電気虫取り器など）を使用しないでください。

- プロジェクターが誤作動する可能性があります。

プロジェクターの上に、花瓶、ポット、カップなどの液体を含む容器、化粧品、医薬品、キャンドルなどの装飾品、重い物を置かないでください。

- 乗せたものが倒れると、感電やケガ、火災の原因になるおそれがあります。

使用中はAC-DCアダプターが高温になることがあります。使用中はお子様触らないよう注意してください。（AC-DCアダプターを使用しないモデルを除く）

電源コード、ケーブル、プロジェクションミラーを持って、プロジェクターを逆さに持ち上げたり、動かしたりしないでください。

- プロジェクターの破損や感電、火災につながる可能性があります。

不在になるときは、電源コードを抜いてください。

- プロジェクターの電源をオフにしても、電源コードが接続されている場合は、電気は完全に遮断されません。

ヘッドホンやイヤホンを使用する場合は、大音量または長時間使用しないでください。

- 聴力に影響をおよぼすおそれがあります。

起動時は音量に注意してください。

- 大音量に設定されている場合、聴力に影響をおよぼすおそれがあります。

プロジェクターを長時間屋外で使用しないでください。屋外には保管しないでください。

プロジェクターのレンズに触れたり、衝撃を与えないでください。

- 製品が破損するおそれがあります。

プロジェクターと投影面の間にものを置かないでください。

- プロジェクターの光線が長時間物に当たると、光線の熱によって、火災につながるおそれがあります。また、反射光がレンズを加熱し、プロジェクターの破損につながる可能性があります。

古い電池と新しい電池を混在させないでください。

- 電池の破裂、液漏れにより、火災や感電、ケガのおそれがあります。

電池を交換するときは、+極、-極を間違えないようにしてください。

- 極性を間違えて使用すると、電池の破裂、液漏れが発生し、電池の爆発、火災、感電、ケガにつながるおそれがあります。

電池を火の近くや直射日光の当たる場所、暖房器具や加湿器の近くなど高温・高湿の環境に置かないでください。

- 電池の爆発、破裂、液漏れにより、火災や感電、ケガのおそれがあります。

電池を投げたり、分解しないでください。

- 電池の損傷により、火災または爆発を引き起こす可能性があります。

使用済の電池は正しく廃棄してください。

- お住まいの地域の自治体の指示または規則に従って、正しく処分してください。

誤った種類の電池に交換すると、火災または爆発の危険があります。

プロジェクターから離れている場合でも、お子様がプロジェクターの光線を凝視させないようにしてください。

プロジェクターのレンズの正面にいる間に、リモコンを使って、プロジェクターを起動するときは注意してください。

光線の内側で双眼鏡や望遠鏡などの視覚補助具を使用しないでください。

電源

⚠ 警告

電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。

- 差し込みが不十分な場合、火災につながるおそれがあります。

電源タップを使用する際は、差し込みが多くなりすぎないようにしてください。

- 電源タップの過熱により、火災につながるおそれがあります。

コンセントに接続された状態で、電源プラグのもう一方の端に金属製の突起物(クリップや箸など)を差し込まないでください。また、電源プラグをコンセントから抜いた直後に触れないでください。

- 感電するおそれがあります。

アース線のついた電源ケーブルの製品は、必ずアースつきのコンセントまたは電源タップを使用してください。(アース接続のないデバイスを除きます)

- 誤作動やショートにより感電や火災につながるおそれがあります。

濡れた手で電源プラグに触れないでください。

- 感電につながるおそれがあります。

プロジェクターを長時間使用しないとき、プロジェクターから離れるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ホコリなど異物が付着すると、劣化、加熱によりショートが発生し、感電、火災などにつながるおそれがあります。

電源プラグは断路装置です。電源プラグはすぐ手の届く状態にする必要があります。

以下の事故が発生した場合は、すみやかにプロジェクターの電源をオフにして、コンセントから電源コードを抜いて、カスタマーセンターにご相談ください。

- プロジェクターが破損したとき
- プロジェクターが落下したとき
- プロジェクター内に異物が混入したとき
- プロジェクターから煙または異臭が発生したとき
- そのまま使用すると、感電や火災につながるおそれがあります。

△ 注意

**電源スイッチがオンの間は、電源プラグを抜き差ししないでください。
(電源プラグをスイッチ代わりに使用しないでください)。**

- 火災または誤動作を引き起こす可能性があります。

AC-DCアダプターまたは電源コードを取り外すときは、必ず、プラグ部分を持ってください。

- ケーブルの断線によって、火災やプロジェクターの破損につながるおそれがあります。

AC-DCアダプター、電源コード、電源プラグの上に物を置いたり、衝撃を与えないでください。

- 破損によって火災、感電、製品の故障につながるおそれがあります。

電源コードおよびAC-DCアダプターの接続は、しっかりと差し込んでください。

- 接続が不十分だと、プロジェクターが正常に動作しなかったり、火災につながるおそれがあります。

電源プラグまたはコンセントのブレードに汚れやホコリが付着している場合は、完全に取り除いてください。

- 火災につながるおそれがあります。

電源コードを熱源から離してください。

- 電源コードのカバーの溶解により、感電や火災につながるおそれがあります。

AC-DCアダプターは付属品またはLG Electronicsが認定している製品のみ使用してください。

- プロジェクターが正常に動作しなかったり、感電や火災につながるおそれがあります。

お手入れ

⚠ 警告

お手入れの際は、プロジェクターに直接水を吹きかけないでください。

- プロジェクターの故障、感電、火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意

プロジェクターのお手入れについて

- お手入れの際は、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 電源をオフに切り替えた直後は、光学系(レンズおよびミラー)を拭かないでください。
- 直接水をかけたり、製品を湿った布で拭いたりしないでください。
- プロジェクターは乾いた布でやさしく拭いてください。
- 洗剤、自動車または工業用の光沢剤や研磨剤、ワックス、揮発性溶剤(ベンジン、アルコール、シンナーなど)は使用しないでください。
- 火災、感電またはプロジェクターの損傷(変形、腐食、破損)が発生する可能性があります。

レンズのお手入れ

- レンズの表面に埃または汚れが付着した場合、レンズをやさしくお手入れしてください。
- レンズについたほこりや汚れを除去するには、エアダスターを使用するか、綿棒、または柔らかい布でレンズをやさしく拭き取ってください。
- プロジェクターの起動中、電源をオフにした直後は、レンズに触れないでください。
- 洗剤、自動車または工業用の光沢剤や研磨剤、ワックス、揮発性溶剤(ベンジン、アルコール、シンナーなど)は使用しないでください。レンズに傷がついたり、変形して正常に表示できなくなることがあります。

製品内部のメンテナンスのため、年に一度弊社カスタマーセンターにご相談ください。

- プロジェクターの内部に埃や異物が堆積すると、誤作動や故障、火災につながるおそれがあります。

レーザー

⚠ 警告

- 本書に記載されている操作方法、注意に従わない場合、レーザー光線にさらされる危険があります。
- 目を傷めるおそれがあるため、レンズから照射される強い光を直視しないでください。

⚠ 注意

- 本製品はIEC 60825-1を満たしているクラス1レーザー機器に分類されています。

内蔵レーザーの仕様(クラス4レーザーモジュール)

- 青
 - 波長:449nm~461nm
 - 光出力:約105W

製品レーザークラスラベル



製品のレーザークラスラベルは、製品の底面に貼付されています。

故障かな？

製品の使用中に次の症状が発生した場合は、以下のリストを確認してください。故障ではない可能性があります。

プロジェクターの安全性チェック

問題
<ul style="list-style-type: none">• プロジェクターをオンにしたとき、スクリーンに何も表示されない、または、音声が出力されない。• プロジェクターから煙が出た、または焦げた臭いがする。• プロジェクターに水がかかってしまった。異物が入り込んでしまった。• 映像が途切れる。• プロジェクターから異音(パチパチやバチバチといった音)が常に聞こえる。• プロジェクターをオフにしても、スクリーンに何か表示されている、音声が出ている。• 上記以外にもいまままで発生していなかった問題が確認される。
解決法
<ul style="list-style-type: none">• 電源スイッチをオフにして、電源コードをコンセントから抜いてください。• 症状を確認の上、カスタマーセンターにご連絡ください。• 感電やケガを負うおそれがありますので、分解しないでください。

トラブルシューティング

問題	解決法
<p>プロジェクターの電源が入らない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクターの電源プラグがコンセントと接続されていることを確認してください。 • コンセントに関連する問題がある可能性があります。プロジェクターが接続されているコンセントに別の製品の電源コードを接続して試してください。
<p>リモコンでプロジェクターを制御できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 電子安定器を備えたランプ、または、3波長型蛍光ランプが設置されている場所では、リモコンが機能しないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> – この場合は、リモコンの正常な動作を保証するために、電子安定器を備えたランプ、または、3波長型蛍光ランプを国際標準製品に交換してください。 • 製品とリモコンの間に障害物があるかどうかを確認してください。 • 電池を交換するときは、極性(+、-)に応じて、正しく取り付けてください。 • 使用済みの電池を新しい電池と交換してください。
<p>突然電源が切れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • [スリープタイマー]、[自動オフ]、[自動電源オフ]が設定されているか確認してください。 • 外部デバイスと一緒に動作しているかどうかを確認してください。 • 自動オフ機能が作動している可能性があります。本製品には、自動オフ機能の設定に応じて、信号なし状態となったとき、またはリモコンが操作されないときに、製品をオフに切り替える自動オフ機能が搭載されています。

問題	解決法
<p>スクリーン上に点が見える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • スクリーン上に色付きの点(明るい点、暗い点、動かない点、ちらつく点)が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> – このプロジェクターは、高精度の技術を使用して生産されています。しかし、スクリーン上に小さな暗い点または明るい点が表示される場合があります。これは、生産プロセスにより通常発生することであり、機能的な欠陥ではありません。 <p>※ 明るいスポット: 明るく輝く点、暗いスポット: テキストやオブジェクトが見えないまたはぼやけた点、点滅: 点滅する点、明るい点: 通常の画像よりも明るく輝く点</p>
<p>ノイズが聞こえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 電氣的ノイズ: これは、プロジェクターに電流を供給する、高速スイッチング回路の動作により生成される小さな音です。ノイズは、製品により異なる場合があります。このノイズは正常であり、製品の機能に影響を及ぼすことはありません。LG Electronicsは、厳密な基準に従って、プロジェクターの製造を管理しています。一定レベルのノイズが問題となることはありません。これにより、製品の交換や購入費用の払い戻しを受けることができないことをご了承ください。 • ファンの音: プロジェクター内部の温度を適切なレベルに維持するため、ファンの音は、周囲温度に応じて、大きくなったり、小さくなったりします。

以下の内容を確認してください。以下の内容に従って操作しても症状が改善されない場合はLG Electronics Japanカスタマーセンターにご相談ください。

全般

問題	解決法
プロジェクターの電源をオンにしてから映像が完全に表示されるまで時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクター起動直後にノイズが発生することがあります。起動後しばらくするとノイズはなくなります。

画質

問題	解決法
水平または垂直に揺れる線、および網目模様が一時表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 強い電氣的な干渉によって、このような問題が発生する可能性があります。携帯電話や電動工具などの電子機器、およびその他の家電製品の電源はオフにしてください。
HDMI®接続しているとき、表示されない、または映像が不鮮明になる。	<ul style="list-style-type: none"> HDMI®ケーブルの仕様を確認してください。HDMI認証されていないHDMI®ケーブルを使用すると、適切に表示されないことがあります。 すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。しっかりと接続されていないと、映像が適切に表示されないことがあります。
USBストレージデバイスで動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> USBストレージデバイスおよびケーブルがバージョン2.0以上であることを確認してください。

音声


問題	解決法
映像が表示されているのに、音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクターの音声出力の設定が正しいか確認してください。 PCとアナログ接続をしていて、DVI変換を使用して接続している場合、音声データは伝送されません。別途音声ケーブルを接続してください。
HDMI/USBに接続しているとき、音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> ハイスピードHDMI®ケーブルを使用していることを確認してください。 USBストレージデバイスおよびケーブルがバージョン2.0以上であることを確認してください。 通常の音楽(*mp3)ファイルのみを使用してください。

PC接続の問題

問題	解決法
PC接続時に映像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> PCとプロジェクターがしっかりと接続されていることを確認してください。 リモコンでプロジェクターの電源をオフにして再度オンにしてください。 プロジェクターをオンにした状態でPCを再起動してください。 解像度がPC入力用に正しく設定されているか確認してください。 HDMIケーブルを再度接続してください。
PCとHDMI接続したとき、音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> グラフィックカードがHDMI音声出力に対応しているか確認してください(DVI変換で接続している際は、別の音声ケーブルを接続する必要があります)。 PCの音量が適切か確認してください。
PCに接続すると、表示が部分的に欠損したり、偏ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> PC入力をサポートするように解像度を設定してください(それでも解決しない場合は、PCを再起動してください)。

マイメディアでのムービーの再生に関する問題

問題	解決法
動画リストのファイル を視聴できない。	<ul style="list-style-type: none"> • USBストレージデバイスのファイルがPCで読み取れるか確認してください。 • ファイル拡張子がサポートされているか確認してください。
「このファイルは無効です」というメッセージが表示されるか、音声が聞こえるのに映像表示が正常でない。	<ul style="list-style-type: none"> • PCの動作再生ソフトウェアでファイルが正常に再生されることを確認してください（ファイルが破損していないか確認してください）。 • 解像度がサポートされているか確認してください。 • ビデオと音声のコーデックがサポートされていることを確認してください。 • フレームレートがサポートされていることを確認してください。
「音声がサポートされていません」というメッセージが表示されるか、映像表示が正常なのに音声が正常でない。	<ul style="list-style-type: none"> • PCの再生ソフトウェアでファイルが正常に再生されることを確認してください（ファイルが破損していないか確認してください）。 • 音声コーデックがPCでサポートされているかを確認してください。 • ビットレートまたはサンプリングレートがサポートされていることを確認してください。
字幕が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • PCの再生ソフトウェアでファイルが正常に再生されることを確認してください（ファイルが破損していないか確認してください）。 • ビデオファイルと字幕ファイルのファイル名が一致しているか確認してください。 • ビデオファイルと字幕ファイルが同一のフォルダーにあることを確認してください。 • 字幕ファイルの形式がサポートされていることを確認してください。 • 字幕の言語がサポートされていることを確認してください（字幕ファイルを「メモ帳」で開いて言語を確認できます）。

- 本書に記載しているイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- サポートに関する情報は、別紙の「プロジェクター 対応窓口のご案内」または、以下の方法でご参照ください。
-  (クイック設定) ボタンを押してメインメニューを開き、[サポート]

情報の確認

仕様

モデル	HU715QW (HU715QW-GL)	
解像度(ピクセル)	3840 (横) x 2160 (縦) ¹⁾	
画面サイズ	16:9 (横:縦)	
投影距離 – スクリーンサイズ	118mm~317mm – 2032mm~3048mm (80インチ~120インチ)	
上向き投影の比率	118%	
消費電力	350W	
電源	AC100V, 50/60Hz, 3.5A	
音声出力	20W + 20W	
高さ	153mm (脚なし)、156.6mm (脚付き)	
幅	533mm	
奥行	315mm	
重量	11.1kg	
USBデバイス	5V, 0.5A (最大)	
環境条件	温度	
	動作	0°C~40°C
	保管	-20°C~60°C
	相対湿度	
	動作	0%~80%
	保管	0%~85%

• 本書の内容は、品質向上のため予告なく変更することがあります。

- 1) XPR (拡張ピクセル解像度) 映像処理によって投影された830万画素の4K UHD解像度。

HDMI対応解像度

HDMI (DTV)

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 480	31.46	59.94
640 x 480	31.5	60
720 x 480	31.47	59.94
720 x 480	31.5	60
720 x 576	31.25	50
1280 x 720	44.96	59.94
1280 x 720	45	60
1280 x 720	37.5	50
1920 x 1080	28.12	50
1920 x 1080	33.72	59.94
1920 x 1080	33.75	60
1920 x 1080	26.97	23.97
1920 x 1080	27	24
1920 x 1080	33.71	29.97
1920 x 1080	33.75	30
1920 x 1080	56.25	50
1920 x 1080	67.43	59.94
1920 x 1080	67.5	60
1920 x 1080	112.5	100
1920 x 1080	134.86	119.88
1920 x 1080	135	120

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
3840 x 2160	53.95	23.98
3840 x 2160	54	24
3840 x 2160	56.25	25
3840 x 2160	61.43	29.97
3840 x 2160	67.5	30
3840 x 2160	112.5	50
3840 x 2160	134.86	59.94
3840 x 2160	135	60
4096 x 2160	53.95	23.98
4096 x 2160	54	24
4096 x 2160	56.25	25
4096 x 2160	61.43	29.97
4096 x 2160	67.5	30
4096 x 2160	112.5	50
4096 x 2160	134.86	59.94
4096 x 2160	135	60

HDMI (PC)

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 350	31.46	70.09
720 x 400	31.46	70.08
640 x 480	31.46	59.94
800 x 600	37.87	60.31
1024 x 768	48.36	60
1360 x 768	47.71	60.01
1152 x 864	54.34	60.05
1280 x 1024	63.98	60.02
1920 x 1080	67.5	60
1920 x 1080	134.86	119.88
1920 x 1080	135	120
3840 x 2160	53.95	23.98
3840 x 2160	54	24
3840 x 2160	56.25	25
3840 x 2160	61.43	29.97
3840 x 2160	67.5	30
3840 x 2160	112.5	50
3840 x 2160	134.86	59.94
3840 x 2160	135	60

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
4096 x 2160	53.95	23.98
4096 x 2160	54	24
4096 x 2160	56.25	25
4096 x 2160	61.43	29.97
4096 x 2160	67.5	30
4096 x 2160	112.5	50
4096 x 2160	134.86	59.94
4096 x 2160	135	60
2560 x 1440	88.78	59.95

- プロジェクターに無効な信号が入力されると、画面に正しく表示されないか、[信号なし]や[無効なフォーマット]などのメッセージが表示されます。
- プロジェクターはプラグアンドプレイ機能(PCモニターの自動認識)として、DDC1/2Bタイプをサポートしています。
- 3840 x 2160が、PCモードでは最高の画質として推奨されます。

Wireless モジュール (LGSBWAC03)仕様

Wireless LAN (IEEE 802.11a/b/g/n/ac)	
使用周波数	無線出力
2400-2483.5MHz 5180MHz, 5190MHz, 5200MHz, 5210MHz, 5220MHz, 5230MHz, 5240MHz, 5260MHz, 5270MHz, 5280MHz, 5290MHz, 5300MHz, 5310MHz, 5320MHz, 5500MHz, 5510MHz, 5520MHz, 5530MHz, 5540MHz, 5550MHz, 5560MHz, 5580MHz, 5590MHz, 5600MHz, 5610MHz, 5620MHz, 5630MHz, 5640MHz, 5660MHz, 5670MHz, 5680MHz, 5700MHz	802.11a: 19.5dBm 以下 802.11b: 21dBm 以下 802.11g: 20.5dBm 以下 802.11n - 2.4GHz: 19.5dBm 以下 802.11n - 5GHz: 18.5dBm 以下 802.11ac - 5GHz: 18.5dBm 以下
Bluetooth	
使用周波数	無線出力
2400-2483.5MHz	9dBm 以下

- 電波法により5.2GHz帯(W52)高出力データ通信システムの基地局又は陸上移動局と通信する場合を除き、5.2GHz帯及び5.3GHz帯(W52/W53)の屋外使用は禁止されています。



- 1 Wi-Fi
この表示のある無線機器は、2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40mです。
- 2 Bluetooth
この表示のある無線機器は、2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信事業会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続する事ができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由して接続して下さい。

<本製品の使用上の注意事項>

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、別紙「プロジェクター 対応窓口のご案内」記載のカスタマーセンターまでご相談ください。

ライセンス

サポートされるライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.comにアクセスしてください。



HDMI, High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Audio、Dolby Atmos及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

QUICK SET[®]

HE Advance[™]

Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

オープンソースソフトウェア通知情報

本製品に実装されているGPL、LGPL、MPL及び、その他のオープンソースライセンスで開発されたソースコードの入手は<https://opensource.lge.com/> のWebサイトをご覧ください。

ソースコードと共に、該当するすべてのライセンスの内容、保証免責の内容および著作権表示をダウンロードすることができます。

また、弊社はおお客様のご負担（メディア代、送料や手数料など）にてCD-ROMでオープンソースコードを提供しています。Eメールにて次のアドレスへCD-ROMをお申し込みください：opensource@lge.com。

このお申し込みは、LG Electronicsにて本製品を販売後3年にかぎり有効となっておりますのでご注意ください。本サービスは、本情報を受け取られた方だけでなくご利用いただけます。

その他の仕様

明るい光源と同様に光線を凝視しないでください（RG2 IEC 62471-5:2015）。

LEDリスクグループ2 (IEC62471)

注意：本製品から危険な光学的放射線が放出される可能性があります。動作中のランプを見つめないでください。目を傷めるおそれがあります。

このラベルは製品の下部に貼付されています。また、上記とは異なる言語の場合があります。

記号

～	交流 (AC) を表します。
≡	直流 (DC) を表します。
回	クラスIIの装置を表します。
⏻	スタンバイを表します。
⏻	「オン」(電源) を表します。
⚡	危険な電圧を表します。



製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。サポートが必要になったときのため、下記にご記入ください。

モデル

シリアル番号

LG プロジェクターについて

本ユーザーマニュアルに掲載されている画像は説明のためのものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

本ユーザーマニュアルに記載されている内容は、製品の品質向上のために予告なく変更・追加される場合があります。

実際のプロジェクターのOSD（オンスクリーンディスプレイ）は、このマニュアルで示す内容と多少異なる場合があります。

[]：プロジェクター画面にはボタンやテキストが表示されます。

目次

- 3 LG プロジェクターについて
- 11 プロジェクターの操作方法
- 22 アプリとコンテンツ
- 26 他のデバイスの接続
- 43 スマートプロジェクターを使いこなす
- 48 設定
- 88 トラブルシューティング
- 102 付帯情報
- 107 メモ

LG プロジェクターについて

ホームのチュートリアル



LG プロジェクターのホーム機能の使用

リモコンの HOME ボタンを押すと、ホーム画面が開きます。
マジック・ライティングリモコンの OK ボタンをスクロールすることで、より多くの機能を利用できます。
アプリやコンテンツを開いたり、スマートプロジェクターの様々な機能を利用したりできます。



- ① 天気予報やプロジェクトの便利な機能を確認できます。
- ② [検索]を起動します。
詳細については、「コンテンツの検索」を参照してください。
- ③ 様々なコンテンツから Recommend 情報を受け取ることができます。
 - ・コンテンツの Recommend 情報を受け取るには、LG アカウントにログインする必要があります。
 - ・Recommend 機能を使用するには、ネットワークに接続する必要があります。
- ④ プロジェクターにインストールしたアプリを実行、移動、および削除できます。

4 LG プロジェクターについて

- プロジェクターの電源を入れるたびに、[アプリリスト]と[あなたのためのトップなおすすめ]が自動的に表示されます。本機能を無効にするには、 (クイック設定) →  → [機器設定] → [システム] → [追加システム設定] → [ホーム設定]で[ホーム自動起動]を[オフ]にします。
- LGE デバイスのコンテンツおよびサービスは、事前の通知なく、いつでも変更される場合があります。
- 使用可能な機能はご利用の地域やサービスによって異なる場合があります。

LG プロジェクターのホームの管理

プロジェクターにインストールされているすべてのアプリをリスト表示できます。また、アプリの位置を変更したり、削除することも可能です。

- 1 編集するアプリを選択して、リモコンの**Ⓢ ホイール (OK)** ボタンを長押しして、[アプリリストの編集]モードに進みます。
または、[アプリリスト]の最後にある[アプリリストの編集]ボタンを押します。
 - 2 希望の位置に移動し、**Ⓢ ホイール (OK)** ボタンを押して、アプリの位置を変更します。
アプリを削除するには、アプリの上にある**☒**アイコンを選択します。
 - リモコンの**◀ ▶**ボタンを使用してもアプリを移動できます。
 - 3 編集が完了したら、画面下の[閉じる]の位置で**Ⓢ ホイール (OK)** ボタンを押してアプリ編集モードを終了します。
- プロジェクターのデフォルトアプリは削除できません。



- 1 アプリが使用頻度に応じて自動的に配置されます。
- 2 [アプリの順序をリセット]：リストに表示されるアプリの配置順をリセットします。
[利用履歴の削除]：コンテンツの視聴履歴とアプリの利用履歴がリセットされます。これらをリセットした場合、もう一度、コンテンツのレコメンドメッセージが届くまでに時間がかかります。

ネットワーク設定



ネットワーク設定

ネットワークの設定を行うと、オンラインコンテンツやアプリケーションなどのさまざまなサービスを使用できます。



有線ネットワークの設定

- 1 プロジェクターのLANポートとルーターをLANケーブルで接続します。
ルーターを前もってインターネットに接続しておく必要があります。
 - ・ルーターがDHCPに対応している場合、プロジェクターをLANケーブルでネットワークに接続すると、プロジェクターは自動的にネットワークに接続されます。

ネットワークに自動的に接続されない場合

- 2 リモコンの  (クイック設定) ボタンを押します。
- 3  → [機器設定] → [ネットワーク] → [有線ネットワーク接続] を選択します。

無線ネットワークの設定

- 1 インターネットに接続されたルーターの電源をオンにします。
- 2 リモコンの  (クイック設定) ボタンを押します。
- 3  → [機器設定] → [ネットワーク] → [無線ネットワーク接続] を選択します。
- 4 ネットワーク検索が完了すると、接続に使用できるネットワークの一覧が表示されます。
- 5 接続するネットワークを選択します。
無線ルーターがパスワードで保護されている場合は、ルーターに設定されたパスワードを入力します。

ネットワーク設定に関する注意事項

- 標準LANケーブル（RJ45コネクタ、10 Base-Tまたは100 Base TX LANポート付きのCat7以上に接続）を使用します。
- ルーターをリセットすると、一部のネットワーク接続の問題が解消される場合があります。電源をオフにし、一度取り外して接続し直し、電源をオンにすると問題が解決します。
- 機器の故障や回線の切断などの問題により、ネットワークの接続や操作ができない場合、LG Electronicsは責任を負いかねます。
- ネットワーク設定やインターネットサービスプロバイダのために、ネットワーク接続が正しく機能しない場合があります。
- DSLサービスにはDSLモデムを使用する必要があり、ケーブルサービスには、ケーブルモデムを使用する必要があります。限られた数のネットワーク接続しか利用できない場合があるため、インターネットサービスプロバイダとの契約によっては、プロジェクターのネットワーク設定を使用できないことがあります（たとえば、契約によって、回線あたり1台の機器しか使用が許可されていない場合、すでに接続されているPCしか使用できません）。
- 無線ネットワークは2.4 GHzの周波数を使用している他の機器（ワイヤレスフォン、Bluetoothデバイス、電子レンジ）により干渉を受けることがあります。5 GHzの周波数を使用しているときにも干渉が起こることはありますが、発生の可能性は低くなります。
- 無線環境によって無線ネットワークサービスの動作が遅くなることがあります。
- 複数の無線機器を同時に使用すると、ネットワークの速度が低下することがあります。
- アクセスポイント機器が無線接続をサポートしている必要があり、またAP（アクセスポイント）接続を行う機器で無線接続機能が有効になっている必要があります。アクセスポイントで無線接続を利用できるかどうかについては、サービスプロバイダに問い合わせてください。
- SSIDとAPのセキュリティ設定を確認してください。SSIDとAPのセキュリティ設定については、該当するマニュアルを参照してください。
- ネットワーク機器（有線/無線回線共有、ハブ）の無効な設定により、プロジェクターの動作が遅くなる場合や、正しく動作しない場合があります。該当するマニュアルに従って機器を正しく取り付けて、ネットワークを設定してください。
- 接続方法は、APメーカーによって異なることがあります。
- 本機能のトラブルシューティングについては、「トラブルシューティング」を参照してください。



LGアカウントの管理

LGメンバーシップ

LGアカウントでは、カスタマイズされたレコメンド情報を受け取ったり、様々なアプリサービスを利用したりすることができます。



LGアカウントでは、メールアドレスでLGメンバーシップに登録することができます。

また、外部サービスアカウントのIDとパスワードを使用して、LGメンバーシップを作成してログインすることもできます。

- 1  (クイック設定) →  → [機器設定] → [システム] → [LGアカウント] を選択します。
- 2 [ウェブブラウザでログイン]、[プロジェクターのリモコンでサインインします]、または[LGメンバーシップに登録]の3つの中から1つを選びます。
- 3 利用規約に同意し、登録に必要な情報を入力します。
 - 必要な情報はご利用の国によって異なる場合があります。
- 4 登録時に入力したメールアドレスに確認リンクが送信されます。有効期間内にメール認証を完了してください。
- 5 メールアドレスが認証されると、ログインできるようになります。
 - 本機能は一部の国では使用できない場合があります。
 - 申請には年齢制限が適用される場合があります。
 - 本機能のトラブルシューティングについては、「トラブルシューティング」を参照してください。

LG アカウントの管理



ログインしたアカウントに関する基本情報を表示できます。
パスワードの変更、または個人情報の編集ができます。

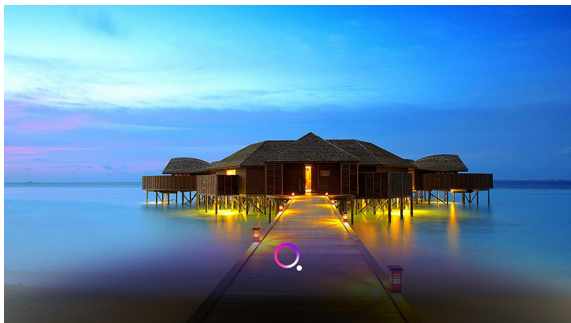
- 1 リモコンの  (クイック設定) ボタンを押します。
- 2  → [機器設定] → [システム] → [LG アカウント] でログインします。







プロジェクターの操作方法

音声でプロジェクター機能を使用する



音声認識により、プロジェクターの様々な機能に簡単かつスピーディーにアクセスできます。

- 1 リモコンの  (音声認識) ボタンを長押しして、起動したい機能や検索にしたいキーワードを話します。
- 2 音声入力後に  (音声認識) ボタンを離すと、対応する機能が起動します。



- 一部のモデルはサポートされないことがあります。
- 正確な検索結果を得るためには、[地域設定]が言語に対応している必要があります。位置情報の設定や言語の設定が異なると、一部の機能が利用できない場合があります。
- 言語の変更は、 (クイック設定) →  → [機器設定] → [システム] → [言語設定] → [メニュー言語]で行うことができます。
- 音声認識機能で利用できる言語は、サービス運営方針に基づいて変更されることがあります。
- サービス内容は、モデルによって異なります。
- なお、AIサービスは、LGEまたはその第三者プロバイダーにより、予告なく変更、削除、終了されることがあります。
- 音声認識の機能については、 (クイック設定) →  → [機器設定] → [AIサービス] → [音声認識のヘルプ]で確認できます。
- 音声認識関連の設定は、 (クイック設定) →  → [機器設定] → [AIサービス] → [音声認識の設定]で行います。

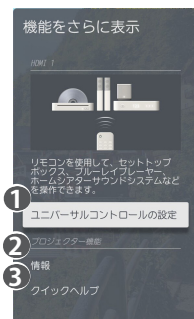
音声認識の注意点

- 音声認識にはマジック・ライティングリモコンが必要ですが、機種によっては対応していない場合もあります。
- すべての音声認識機能を使用するには、地域などを設定する必要があります。設定していない場合、一部の機能をご使用になれません。
- 音声認識機能を使用するにはインターネット接続が必要です。
- ネットワークに接続している場合、音声認識を利用するには、利用規約に同意する必要があります。
- プロジェクターに接続されているセットトップボックスを音声認識で操作するには、 (クイック設定) →  → [機器設定] → [デバイス] → [外部デバイス] → [ユニバーサルコントロールの設定]で設定する必要があります。
- 音声入力後、マジック・ライティングリモコンをセットトップボックスに向けてることを推奨します。
- 音声認識率は、ユーザーの特徴（声の大きさ、発音、アクセント、話す速度）や周囲の環境（騒音、プロジェクターの音量）によって変化することがあります。
- 音声を正確に認識するためには、マジック・ライティングリモコンのマイクを約10cm離して、適切な声の大きさをゆっくりと正確に発音する必要があります。
- 音声が正しく認識されない場合、音声認識が本来の目的とは異なる動作をする可能性があります。

リモコンのその他の機能を表示するには

プロジェクター画面に表示されているボタンを使用して、その他の機能またはプロジェクターに接続されている外部デバイスを操作できます。

- 1 リモコンの…ボタンを押します。
- 2 リモコンを使用して、プロジェクター画面に表示されている[機能をさらに表示]上の希望するボタンを選択します。



- 1 ユニバーサルリモコンを設定できます。
 - ユニバーサルリモコンの機能を使用するには、マジック・ライティングリモコンが必要です。(付属のリモコンはモデルごとに異なります。)
 - 2 外部入力情報が画面に表示されます。
 - 3 プロジェクターが誤動作した場合、問題を解決することができません。
- [機能をさらに表示]に表示されるボタンの種類は、地域と接続されているデバイスの種類によって異なります。
 - 設定可能な項目は、モデルによって異なります。

ユニバーサルリモコン

ユニバーサルリモコンの自動設定

ユニバーサルリモコンを設定すると、専用リモコンを使用する代わりに、マジック・ライティングリモコンを使用して周辺機器（Blu-ray/DVDプレーヤー、ホームシアター、セットトップボックスなど）を制御できます。



設定するデバイスをプロジェクターのHDMI入力に接続し、デバイスの電源をオンに切り替えます。

プロジェクターは接続されたデバイスを自動的にスキャンし、ユニバーサルリモコンを設定します。

- ユニバーサルリモコン設定後、いくつかの追加ユーザー設定が必要となる場合があります。
- ユニバーサルリモコンの設定を完了するために、数秒かかることがあります。
- 一部のモデルでは、接続されたデバイスの入力に変換した後ののみ、ユニバーサルリモコンを設定できます。
- 接続されるデバイスにより、ユニバーサルリモコンの自動設定機能（自動デバイス接続）がサポートされないことがあります。

ユニバーサルリモコンの手動設定

ユニバーサルリモコンが自動で設定されていない場合は、手動で設定することができます。

- 1  (クイック設定) →  → [機器設定] → [デバイス] → [外部デバイス] → [ユニバーサルコントロールの設定]を選択します。
- 2 設定するデバイスの種類を選択します。
- 3 画面上のガイダンスに従い、ユニバーサルリモコンの設定を完了します。
ユニバーサルリモコンの設定を変更または取り消すことができません。
 - この機能はマジック・ライティングリモコンでのみ使用できます。(付属のリモコンはモデルごとに異なります。)
 - 一部のモデルはサポートされないことがあります。
 - 設定を変更する際、変更するデバイスの電源が入っていることを確認してください。
 - ユニバーサルリモコンを最新情報で設定するには、ネットワークに接続し、ユーザー同意書に同意します。
 - ユニバーサルリモコンの手動設定機能は、ゲーム機に対してサポートされません。
 - 外部デバイスのモデルによって、一部のボタンが正常に動作しない場合があります。
 - 制御するデバイスにマジック・ライティングリモコンを向けます。リモコンの信号が十分に受信されるように、デバイスの前に物が無いことを確認してください。

[お好みボタン]を用いたアプリの起動

[お好みボタン]をでアプリをすばやく簡単に使用する

リモコンの数字ボタンを長押しして、ボタンに登録されたアプリを開いたり外部入力を有効にできます。

[お好みボタン]の設定

- 1 割り当てるアプリを起動するか、入力を有効にします。
- 2 登録する(1~8)ボタンを長押しします。
9番は[クイックヘルプ]に固定されています。
- 3 登録用のポップアップウィンドウが開いたら、[はい]を選択します。
 - 登録済みの数字ボタンを長押しすると、登録された機能が実行されます。
 - 登録できる項目を確認する場合は、[お好みボタンの編集]モードで未登録の数字を選択します。
 - [お好みボタン]が動作しないモードの場合は、何も実行されません。
 - 登録済みのアプリを削除すると、[お好みボタン]も同時に登録が解除されます。

[お好みボタン]の確認と編集

リモコンの数字**0**ボタンを長押しします。
[お好みボタン]の編集画面が開きます。





- ① 登録済みの数字を選ぶと登録を解除できます。
- ② 未登録の数字を選択すると、登録できる項目が表示されます。
 - 別の数字に登録済みの項目にはチェックマークが表示されます。
- ③ [お好みボタンの編集]機能について、簡単な説明を確認できます。

SIMPLINKの使用


プロジェクターにHDMIで接続されたサウンドバーやセットトップボックスなど、さまざまなデバイスを1つのリモコンで簡単に管理できます。


- 最大で3台のデバイスを接続し、同時に使用することができます。

1 HDMI®ケーブルを使用して、SIMPLINK HDMI出力ポートをプロジェクターのHDMI INポートに接続します。

2  (クイック設定) →  → [機器設定] → [デバイス] → [HDMI設定]を選択します。

3 [SIMPLINK (HDMI-CEC)]を[オン]に設定します。

4 接続された機器の電源をオンにします。プロジェクターが機器に自動的に接続すると、入力が切り替わります。機器がプロジェクターに自動的に接続されない場合は、 ボタンを押します。

- この機能は、 SIMPLINKロゴが付いた機器でのみ機能します。外部機器のSIMPLINKロゴを確認します。機器が必要な仕様を満たしていない場合、機器の使用で問題が発生することがあります。
- SIMPLINKを使用するには、CEC (Consumer Electronics Control) 機能対応ハイスピードHDMI®ケーブルが必要です。ハイスピードHDMI®ケーブルのピン13が、機器間のデータ転送に使用されます。
- HDMI®ケーブルで接続した外部オーディオ機器に音声を出力する場合は、[SIMPLINK (HDMI-CEC)]を[オン]に設定します。

サポートされているSIMPLINK機能

- **インスタント再生**
マルチメディア機器を起動すると、何も制御しなくても、機器のコンテンツをプロジェクターですぐに視聴できます。
- **プロジェクターのリモコンを使用した機器の制御**
ユーザーは、プロジェクターのリモコンでマルチメディア機器を制御して、コンテンツを視聴できます。
 - マルチメディア機器のメニューは、リモコンの矢印キーで操作できます。
- **主電源オフ**
プロジェクターの電源をオフにすると、SIMPLINKで接続された機器の電源もオフになります。
 - この機能は特定の機器でのみ使用可能です。
- **主電源オン**
SIMPLINK機器の電源を入れると、プロジェクターの電源も入ります。
 - 一部のモデルはサポートされないことがあります。

入力デバイスをUSB接続する

USB有線/無線マウスの使用

マウスをUSBポートに接続します。マウスを使用してプロジェクターの画面上でポインターを移動したり、目的のメニューを選択したりします。

- マウスの右ボタンと特殊なボタンは機能しません。
- ワイヤレスUSBマウスを使用する場合、プロジェクターとマウスの距離やワイヤレス環境によっては、接続が切れたり遅くなったりすることがあります。

USB有線/無線キーボードの使用

キーボードをUSBポートに接続します。接続したキーボードデバイスでテキストを入力できます。

- 一部の画面には、テキストを入力できません。
- LG製プロジェクターとの互換性について検査済みの製品を使用することをお勧めします。
LOGITECH K360、LOGITECH K400、LOGITECH K750、LG Electronics MKS-1200
- 言語切り替えキー、または右側のAltキーを押すと、入力言語を変更できます。また、Ctrlキーとスペースバーを同時に押しでも変更できます。
- ワイヤレスUSBキーボードを使用する場合、プロジェクターとキーボードの距離や無線環境によっては、接続が切れたり遅くなったりすることがあります。
- テキストフィールドにテキストを入力するには、プロジェクター画面上のオンスクリーンキーボードまたはUSBキーボードを使用してください。

ゲームパッドの使用

ゲームパッドが必要なゲームの場合は、ゲームパッドをプロジェクターのUSBポートに接続します。

- LG製プロジェクターとの互換性について検査済みのゲームパッドを使用することをお勧めします。
PS Dual Shock4 ver.1 & ver.2、MICROSOFT Xbox 360 コントローラー（ケーブル）、NVIDIA Shield コントローラー、LOGITECH F310、LOGITECH F510、LOGITECH F710、LOGITECH Rumblepad 2、LOGITECH Cordless Rumblepad 2、LOGITECH Dual Action Gamepad、SONY Playstation(R)3 コントローラー

アプリとコンテンツ

アプリのインストール

ゲーム、教育、ニュースなど、さまざまなカテゴリーのアプリをインストールして、プロジェクターで便利に使用することができます。

- 1 リモコンの \square ボタンを押します。
- 2 [アプリ]を起動します。
- 3 カテゴリーを選択するか、検索ボタンを押してアプリを検索します。
- 4 インストールするアプリを選択します。
- 5 アプリの詳細を読み、[インストール]を押します。
- 6 インストール完了後、すぐにアプリを起動できます。





- ① コンテンツを検索します。
詳細については、「コンテンツの検索」を参照してください。
- ② LGアカウントでログインし、アプリを管理することができます。
- ③ [アプリ]を閉じます。

- アプリをインストールするには、ログインする必要があります。
- 使用可能なカテゴリはご利用の国やサービス状況によって異なる場合があります。
- プロジェクターのストレージが不足している場合、外部メモリデバイスを接続することでアプリがインストールできます。
- 一部のUSBストレージデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
- 他のLGテレビやLGプロジェクターのアプリを含むUSBドライバーは使用できません。
- お子様を使用する際には十分に注意してください。この製品を通して、お子様がインターネット上の不適切なコンテンツにアクセスする可能性があります。一部アプリへのアクセスを制限することで、不適切なインターネット上のコンテンツをブロックできます。
 - ⚙️ (クイック設定) の → ⚙️ → [機器設定] → [システム] → [ロック] → [アプリの使用制限] で設定を行います。

コンテンツのレコメンド

セットトップボックスを使用してプロジェクターを視聴している場合、レコメンド機能を正常に使用するには、ユニバーサルリモコンの設定を完了する必要があります。

詳細については、「ユニバーサルリモコン」を参照してください。

- 1 マジック・ライティングリモコンの  (音声認識) ボタンを押します。コンテンツ推薦画面が表示されます。
- 2 画面の  アイコンを押すと、より多くのコンテンツが表示できます。
 - 一部のモデルはサポートされないことがあります。
 - レコメンド機能を使用するには、ネットワークに接続する必要があります。
 - サポートされるサービスは国によって異なるため、レコメンド表示は異なる場合があります。
 - レコメンドのリストは、視聴している番組の情報に応じて、関連性が低い場合と関連性がない場合があります。

コンテンツの検索

タイトル、俳優/女優、ジャンルなどからコンテンツを検索します。

- 1 リモコンの ⏏ ボタンを押します。
- 2 [検索]を起動します。
- 3 目的の検索用語を入力して、さまざまなコンテンツと情報を検索します。



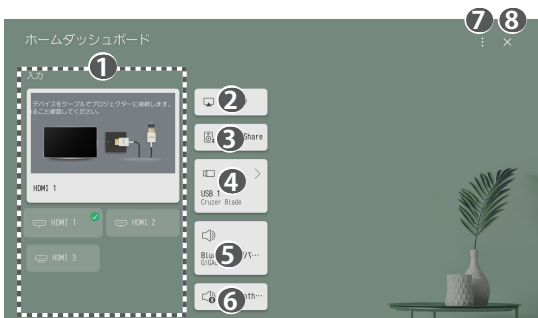
- 1 目的の検索用語を入力します。
 - 2 最近検索した用語を表示します。
 - 3 提案されたキーワードから1つを選択して、検索に進むことができます。
 - 4 選択したジャンルのコンテンツのリストを提供します。
- 検索機能を使用するには、ネットワークに接続する必要があります。
 - 地域、ネットワーク設定、利用規約に同意しているかどうかによって、検索結果が異なる場合があります。

他のデバイスの接続

[ホームダッシュボード]の使用

プロジェクターに接続されたデバイス（モバイル、外部デバイスなど）を選択または制御できます。

- リモコンの ⏏ ボタンを押して、[ホームダッシュボード]を選択します。
- リモコンの ⏏ ボタンを押し続けることもできます。



- ① 外部入力ポートまたはネットワークを通して、接続された外部デバイスを確認・選択できます。
- ② AirPlay/HomeKitを使ってプロジェクターを操作し、iPadやMacのコンテンツをプロジェクターのスクリーンで見ることができます。
 - LGEデバイスのコンテンツおよびサービスは、事前の通知なく、随時変更される場合があります。

- ③ Bluetoothを経由して接続されたスマートデバイスから音声を再生できます。
詳細な指示については、「プロジェクターのスピーカーを通じたスマート機器音声の再生」を参照してください。
 - ④ USBストレージデバイスやメディアサーバーを接続している場合のみ選択できます。
 - ⑤ 現在選択されている出力スピーカーが表示され、出力スピーカー設定画面に移動できます。
 - ⑥ 接続されているBluetooth機器のリストが表示され、選択することができます。
 - ⑦ [編集]：[入力の編集]に接続されているデバイスの名前を編集したり、関連する設定を構成したりできます。
[ユニバーサルコントロールの設定]：[ユニバーサルコントロールの設定]アプリに移動します。
 - ⑧ [ホームダッシュボード]を終了します。
- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。


モバイルデバイスの画面をプロジェクターに表示するには

モバイルデバイスの画面をプロジェクターに表示するには

- 1 モバイルデバイスで画面共有モードを有効にします。
- 2 使用しているプロジェクターが、使用可能なデバイスの一覧に表示されます。
- 3 プロジェクターを選択し、接続要求を実行します。
- 4 接続要求ポップアップウィンドウで同意を選択します。
- 5 接続が確立されると、接続されたデバイスの画面がプロジェクターに表示されます。
 - ・信頼できる接続の場合は、プロジェクターの接続されるデバイスが最新のOSバージョンに更新されるように常に維持します。
 - ・LGE以外のデバイスは、検出された場合でも接続されないことがあります。
 - ・無線環境によってパフォーマンスが影響を受ける可能性があるため、デバイスは5 GHz対応ルーターに接続してください。
 - ・応答速度はユーザーの使用環境に応じて異なります。
 - ・デバイスごとに異なります。接続するデバイスの詳細については、それぞれのユーザーガイドを参照してください。
 - ・接続が繰り返し失敗する場合は、プロジェクターおよび接続するデバイスの電源をオフにして、もう一度オンにしてから、再試行してください。

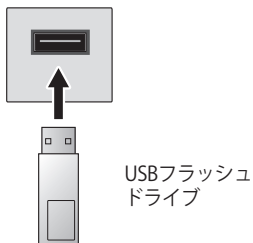
プロジェクターのスピーカーを通じたスマート機器音声の再生

Bluetoothを通じてスマートデバイスをプロジェクターに接続し、プロジェクターのスピーカーからスマートデバイスの音声を再生します。



- 1 スマートデバイスのBluetooth機能をオンにし、続いてデバイス一覧からプロジェクターを選択します。
- 2 プロジェクターはスマートデバイスに接続されます。
 - 出力スピーカーが[Bluetoothデバイス]に設定されているか、設定履歴がある場合、スマート機器のリストにプロジェクターが検出されない場合があります。
 - 出力スピーカーが[Bluetoothデバイス]に設定されている場合は、リモコンの  ボタンを長押しして[ホームダッシュボード]を開き、モバイルエリアで[Sound Share]を選択して接続します。

USBの接続

USBストレージデバイス（USB HDD、USBフラッシュドライブ）をプロジェクターのUSBポートに接続することで、USBストレージ機器に保存されているコンテンツファイルをプロジェクターで簡単に再生することができます。



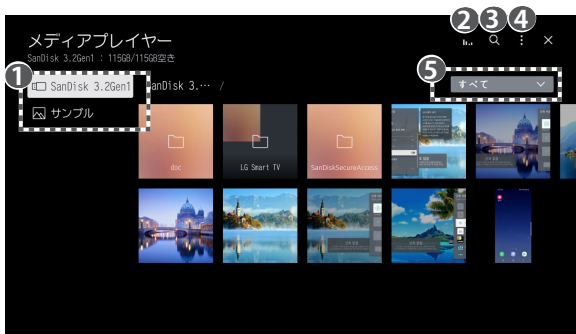
USBストレージデバイスの使用上のヒント

- 自動認識プログラムを内蔵していたり、独自のドライバーを使用しているUSBストレージデバイスは、認識されない可能性があります。
- 一部のUSBストレージデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
- USB延長ケーブルを使用すると、USBストレージデバイスが認識されないか、正常に動作しないことがあります。
- Windows OSのFAT32またはNTFSファイルシステムでフォーマットされているUSBストレージデバイスのみを使用してください。
- 定格電圧5V以下、定格電流500 mA以下の外部USB HDDを使用することをお勧めします。定格電圧/電流よりも高い電圧/電流が必要なデバイスを使用すると、電流不足により正常に動作しない場合があります。
- USBハブやUSBストレージデバイスの場合は、ACアダプターをコンセントに接続して、電力を供給するタイプを使用することをお勧めします。
- 32 GB以下のUSBスティックまたは2 TB以下のUSB HDDを使用することをお勧めします。
- 省エネ機能付きUSB HDDが正常に動作しない場合は、ハードドライブの電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。詳細については、USB HDDの取扱説明書を参照してください。
- USBストレージデバイスのデータは損傷することがあるため、重要なファイルはバックアップしておくことをお勧めします。データ管理はユーザーの責任において行ってください。メーカーは一切の責任を負いません。
- リモコンのボタンを押します。USBストレージデバイスを取り外す場合は、取り外すUSBストレージデバイスにフォーカスするとき上部に表示される[取り外し]ボタンを押します。[取り外し]を選択せずにUSBストレージデバイスを取り外すと、プロジェクターまたはストレージデバイスでエラーが発生することがあります。
- プロジェクターでサポートされていないファイルシステムのUSBストレージデバイスをUSB入力ポートに接続すると、フォーマットメッセージが表示されます。接続されたUSBストレージデバイスを使用するには、最初にデバイスをフォーマットする必要があります。フォーマットの後、USBストレージデバイスのすべてのデータは削除され、NTFSまたはFAT32ファイルシステムとしてフォーマットされます。
- リモコンのボタンを長押しします。USBストレージデバイスをフォーマットするには、[ホームダッシュボード]から接続済みのUSBを選択して、[フォーマット]ボタンを選択します。
- USBストレージデバイスを接続する際、スマートプロジェクターサービス（サムネイルイメージの保存と取得など）を提供するためのランダムファイル/フォルダーを作成できます。

[メディアプレイヤー]の使用

[メディアプレイヤー]アプリでは、映像の検索・閲覧やビデオ・音楽を再生することができます。

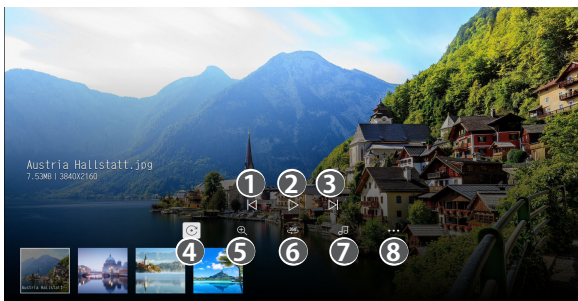
- 1 リモコンの ⏏ ボタンを押します。
- 2 [メディアプレイヤー]アプリを起動します。
- 3 デバイスリストから使用するデバイスを選択します。
- 4 再生するコンテンツを選択します。



- ① プロジェクターに接続されているデバイスを選択することができます。
 - ② 音楽の再生中にのみ表示されます。|||を押して音楽の再生画面にアクセスします。
 - ③ [検索]を起動します。
 - ④ [表示タイプ]：コンテンツの表示モードを選択します。
[ソート]：コンテンツをソートするオプションを選択します。
[グループ]：[音楽]で絞り込んだ場合は、[アーティスト]や[アルバム]などのカテゴリーでコンテンツをまとめることができます。
[選択再生]：複数のコンテンツを選択して再生することができます。
[削除]：複数のコンテンツを選択して削除することができます。
 - ⑤ 選択したタイプのコンテンツのみを表示します。
- 他の機器から共有されているファイルは削除できません。
 - 選択したフィルタリングやモデルによって、設定項目が異なります。
 - コンテンツの総数が40,000点を超えると、特定のコンテンツが一覧に表示されない場合があります。

映像を見る

[メディアプレイヤー]アプリから映像を選択し、見ることができます。映像の表示中、リモコンの▽ボタンを押して、より多くの機能を使用できます。



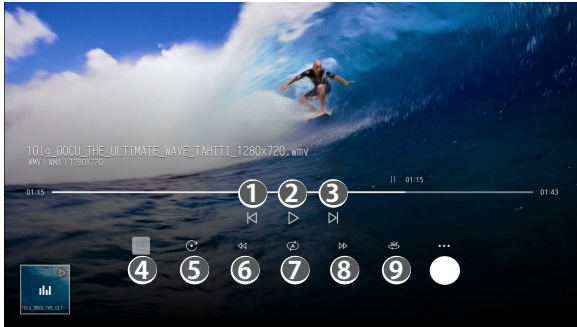
- 1 前のコンテンツを表示します。
- 2 スライドショーが開始されます。
- 3 次のコンテンツを表示します。
- 4 写真を回転させます。
- 5 写真を拡大/縮小できます。
- 6 360° 写真を360° で閲覧できます。
 - 通常の写真で360° VR再生を使用すると、画像が歪むことがあります。
 - 一部のモデルはサポートされないことがあります。
- 7 ストレージデバイスから選択した音楽ファイルをBGMとして再生します。
- 8 写真のサイズを設定したり、スライドショーの速度と効果を変更したりできます。
 - 一部のモデルはサポートされないことがあります。

ビデオの再生

[メディアプレイヤー]アプリからビデオを選択し、ビデオを再生することができます。

リモコンの◀▶ボタンを押すと、10秒前に戻る/進むことができます。

ビデオの再生中にリモコンの▽ボタンを押すと、より多くの機能にアクセスできます。



- ① 前のビデオを表示します。
- ② ビデオの再生／一時停止を行います。
- ③ 次のビデオを表示します。
- ④ 字幕の設定を変更できます。
- ⑤ ビデオを回転します。
- ⑥ 高速でビデオを巻き戻します。
- ⑦ ビデオの繰り返し再生に関する設定を行えます。
- ⑧ 高速でビデオを早送りします。
- ⑨ 360° ビデオを360° で閲覧できます。
 - 通常のビデオで360° VR再生を使用すると、ビデオが歪むことがあります。
 - 一部のモデルはサポートされないことがあります。

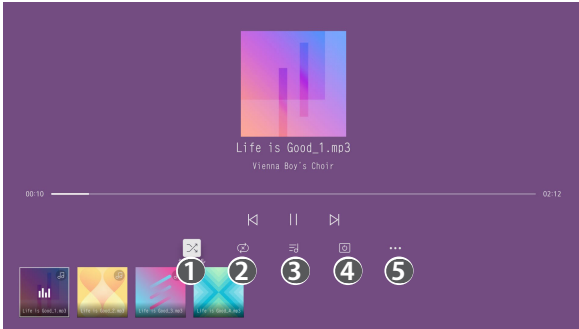
[再生の再開]：最後に再生したシーンから再開して視聴を続けるよう設定できます。

[再生速度]：再生速度を設定します。

[オーディオトラック]：オーディオトラックを設定できます。

音楽を聴く

[メディアプレイヤー]アプリから楽曲を選択し、再生することができます。楽曲の再生中にリモコン▽ボタンを押すことで、より多くの機能を使用できます。



- ① ランダム再生モードを設定できます。
- ② リピート再生モードを設定できます。
- ③ 歌詞は、歌詞が提供される音楽ファイルでのみ見ることができます。
一部の音楽ファイルでは、歌詞の一部を選択して再生位置をずらすことができます。
 - 歌詞機能は一部のデバイスのみに対応しています。
 - 音楽ファイルの歌詞データによっては、歌詞が同期して表示されない場合があります。
- ④ 画面をオフにした状態で音楽を再生できます。
- ⑤ 歌詞の速度を設定できます。
 - 音楽によっては、本機能に対応していない場合があります。

コンピューターファイルの表示

プロジェクターでPCに保存したコンテンツを見る

これらのデバイスが同じネットワークに接続されている場合、プロジェクターのPCに保存されているビデオ/音楽/写真を楽しむことができます。

プロジェクターでPC上のコンテンツを閲覧・視聴する (Windows 10)

- 1 プロジェクターとPCを同一のネットワークに接続します。
- 2 再生したいファイルを右クリックし、「デバイスにキャストする」を選択します。
- 3 表示されたリストから見たいプロジェクター名を選択すると、そのプロジェクターで再生が開始されます。
 - 複数のプロジェクターやデバイスを接続している場合でも、選択したファイルは1つのデバイスからのみ再生されます。再生速度はネットワーク接続に応じて異なります。
 - 他のOSやデバイスで再生する場合は、OS/デバイスのマニュアルを参照してください。

プロジェクターでPCに保存されているコンテンツを閲覧・視聴する
(Windows 10)

- 1 プロジェクターとPCを同一のネットワークに接続します。
 - 2 PC画面の「スタート」メニューを開き、「メディアストリーミングオプション」を検索し、表示された結果を選択します。
 - 3 開いたウィンドウで「メディアストリーミングをオンにする」ボタンを選択します。
 - 4 「メディアストリーミングオプション」をすべて許可します。
 - 5 「OK」を選択すると、設定が保存されます。
 - 6 プロジェクターの[ホームダッシュボード]アプリで接続しているPCを選択し、目的のファイルを選択して再生します。
- ・ 他のOSやデバイスで再生する場合は、OS/デバイスのマニュアルを参照してください。

コンテンツ共有時に特に注意が必要な事項

- コンテンツ共有オプションが適切に動作しない場合は、ネットワーク設定を確認します。
- 無線ネットワークでは正常に動作しない場合があります。有線ネットワーク接続を使用することをお勧めします。
- ネットワーク環境によっては正常に動作しない場合があります。
- 1つのデバイスに複数のディスプレイデバイスを接続している場合、サーバーのパフォーマンスによってはコンテンツが正常に再生されないことがあります。
- コンテンツ共有機能を使用して1080p動画を視聴するには、5 GHzの周波数を使用するルーターが必要です。2.4 GHzのルーターを使用した場合、動画が正しく再生されないことがあります。
- コンテンツ共有機能は、マルチキャストに対応していないルーターではサポートされない場合があります。詳細については、ルーターに付属のユーザーガイドを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- 字幕がサポートされるのは、一部の接続デバイスのみです。
- その後、キャプションファイルを追加した場合は、一旦PCの共有フォルダを無効にしてから、再度有効にしてください。
- 接続されたデバイスのDRMファイルは再生されません。
- サポートされるファイル形式は接続されたデバイス環境によって異なります。そのため、プロジェクターでサポートされているファイル形式でも、再生されない場合があります。
- 1つのフォルダーにあるフォルダーとファイルが多すぎる場合、適切に動作しないことがあります。
- 接続されたデバイスからインポートしたファイルに関する情報は、正しく表示されないことがあります。
- エンコードによっては、一部のストリームがコンテンツ共有モードで再生されないことがあります。


PCの画面をプロジェクターに表示するには

PCの画面をプロジェクターに表示するには

無線の接続

- 1 PCで画面共有モードを有効にします。使用しているプロジェクターが、使用可能なデバイスの一覧に表示されます。
- 2 プロジェクターを選択し、接続要求を実行します。
- 3 接続が確立されると、接続されたデバイスの画面がプロジェクターに表示されます。
 - 信頼できる接続の場合は、プロジェクターの接続されるデバイスが最新のOSバージョンに更新されるように常に維持します。
 - この機能は近距離で使用することを推奨します。
 - モバイルデバイスやPCをプロジェクターと同じネットワークに接続することで、より早く画面共有を開始することができます。
 - 無線ルーターがなくても接続できますが、無線環境によってはパフォーマンスが低下する可能性があるため、デバイスを5GHz対応ルーターに接続することを推奨します。
 - 応答速度はユーザーの使用環境に応じて異なります。
 - Windowsバージョンとは異なります。接続するデバイスの詳細については、それぞれのユーザーガイドを参照してください。
 - 接続が繰り返し失敗する場合は、プロジェクターおよび接続するデバイスの電源をオフにして、もう一度オンにしてから、再試行してください。

有線の接続

- 1 HDMI®ケーブルでPCとプロジェクターを接続します。
- 2  → [ホームダッシュボード]で、入力をHDMIケーブルが接続されている端子に変更します。
- 3 接続が確立されると、接続されたPCの画面がプロジェクターに表示されます。
 - 接続に問題がある場合は、「PC接続のトラブルシューティング」を参照してください。

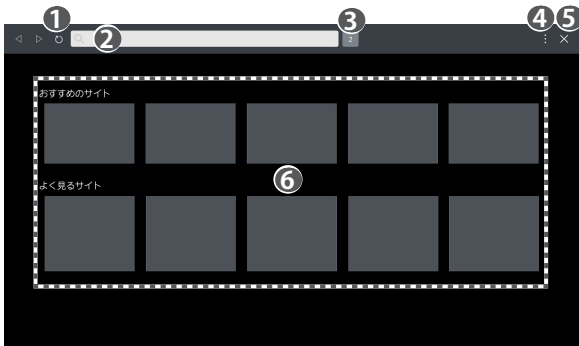
スマートプロジェクターを使いこなす

[ウェブブラウザ]の使用



[ウェブブラウザ]の使用



URLバーにWebアドレスを入力すると、Webサイトを開くことができます。検索ワードを入力すると、検索エンジンで検索ワードに関する情報が表示されます。

- 1 リモコンの🏠ボタンを押します。
- 2 [ウェブブラウザ]アプリケーションを起動します。



- 1 表示しているWebサイトを更新できます。
- 2 Webアドレスを入力して、特定のWebサイトに移動したり、検索ワードを直接入力したりできます。
- 3 現在開いているタブを表示できます。


- ④ Webサイトを閲覧しながら、画面を拡大または縮小できます。
[広告ブロック]: 表示しているWebサイト内の広告をブロックできます。
ただし、このボタンは、→[設定]→[広告ブロックの使用]が[オン]に設定されている場合にのみ表示されます。
[プロジェクター同時視聴]: 画面を分割してプロジェクター画面を表示します。プロジェクターを見ながらWebサイトを閲覧できます。
[ブックマークに追加]: 現在表示しているWebサイトをお気に入りに追加できます。
[履歴]: Webサイトの訪問履歴を表示・削除できます。
[お気に入り]: お気に入りに追加したWebサイトのリストを表示・削除できます。
[設定]: ウェブブラウザの設定を変更できます。
- ⑤ [ウェブブラウザ]を終了します。
- ⑥ 新しいタブ画面には、[おすすめのサイト]と[よく見るサイト]のリストが表示されます。
[おすすめのサイト]を表示したくない場合は、→[設定]→[おすすめのサイトを表示]機能を[オフ]に設定してください。
[おすすめのサイト]は国によって異なる場合があり、特定の国でのみ利用できます。

- プロジェクターの[ウェブブラウザ]アプリはプロジェクター用のブラウザであるため、PC用のブラウザとは動作が異なる場合があります。
 - 一部のコンテンツが適切に再生されないことがあります。
 - フラッシュプラグインはサポートされておらず、HTML5メディアのみがサポートされています。
 - プラグインのインストールはサポートされていません。
 - JPEG/PNG/GIF以外の形式のメディアは再生できません。
 - プロジェクターのメモリが不足すると、アプリが強制的にシャットダウンされる場合があります。
 - プロジェクターで提供されているフォントが使用されます。コンテンツによっては、PCやモバイルブラウザとは文字が異なる場合があります。
 - ファイルとフォントのダウンロードはサポートされていません。
 - 悪意のあるサイトやフィッシングサイトは自動的にブロックされないため、注意が必要です。
 - 一部の機能は、ウェブブラウザの外部要因により一時的にサポートされない場合があります。
- Webサイトはプロジェクターの[ウェブブラウザ]アプリからアクセスできるため、お子様が有害なオンラインコンテンツにアクセスしないよう注意が必要です。
[ウェブブラウザ]アプリをロックして、有害なオンラインコンテンツへのアクセスを防ぐことができます。
 (クイック設定) の →  → [機器設定] → [システム] → [ロック] → [アプリの使用制限] で設定を行います。
- ウェブブラウザの使用中に問題が発生した場合は、トラブルシューティングを参照してください。

ウェブブラウザ設定の変更

☰ → [ウェブブラウザ]アプリの上部にある[設定]を選択します。

- [起動時]
[ウェブブラウザ]アプリを起動したときに表示されるページを選ぶことができます。
- [検索エンジン]
アドレスバーにキーワードを入力して検索する際、検索エンジンを選択することができます。
 - 検索エンジンの設定は、サプライヤーの状況に基づき、通知なく変更されることがあります。
- [おすすめのサイトを表示]
新しいタブ画面に[おすすめのサイト]のリストを表示するかどうかを設定できます。
- [アドレスバーを常に表示]
[オン]に設定すると、上部のアドレスバーとメニューバーエリアが常に表示されます。
- [プライベートブラウジング]
[オン]に設定すると、Webサイトへのアクセス履歴は保存されません。
- [サイトカテゴリー]
Webサイトを登録して、ブロックまたは許可することができます。
[承認済みサイト]: 以前に登録したWebサイトのみを開くように設定することができます。
[ブロックされたサイト]: 特定のWebサイトをブロックするように設定することができます。
 - [サイトカテゴリー]機能を使用するには、プロジェクターのパスワードを入力する必要があります。
- [ポップアップブロック]
Webサイトで自動的に表示されるポップアップをブロックします。
- [トラッキング拒否]
訪問履歴をWebサイトに残さないようにリクエストすることができます。Webサイトのポリシーにより、操作が異なる場合があります。
- [JavaScriptを使用したアダプティブストリーミング]
JavaScriptを使用したメディアストリーミング技術により、最適化された解像度で動画を表示できます。
これが[オフ]に設定されていると、[ウェブブラウザ]で再生される動画の解像度は720pに制限されます。

- [クッキーの設定]
Webサイトがクッキーデータを保存・使用できるようにします。
- [広告ブロックの使用]
[オン]に設定した際、[ウェブブラウザ]の上部にあるアイコンをクリックすると、[広告ブロックの使用]のオン/オフを切り替えるボタンが表示されます。[広告ブロックの使用]機能をオンにすると、Webサイトに含まれる広告をブロックすることでページの読み込みが高速化されます。
- [ウェブブラウザエラー自動報告]
[オン]に設定すると、ウェブブラウザの使用中に障害（故障、メディア再生障害、ページ読み込み障害、異常終了、メモリ不足による応答の遅れなど）が発生した場合、関連情報がLG Electronics本社（韓国）のウェブブラウザ開発チームに自動的に送信されます。送信された情報は、ウェブブラウザのパフォーマンスを向上させるためにのみ使用されます。
- [閲覧履歴データの削除]
[クッキーの削除]：クッキーデータを削除します。削除すると、ほとんどのサイトからログアウトします。
[すべての閲覧履歴データの削除]：クッキーを含むすべての閲覧履歴を削除します。


設定

設定可能な項目は、モデルによって異なります。


クイック設定

クイック設定

[映像モード]、[スピーカー設定]、[スリープタイマー]などの一連の軽量コントロールを、すばやく簡単に表示できます。

リモコンの  (クイック設定) ボタンを押します。



- ① [映像モード]を設定できます。
- ② [スピーカー設定]を選択できます。
- ③ [ゲームオプティマイザ]画面に移動します。
- ④ [スリープタイマー]を設定できます。
- ⑤ [ネットワーク]画面に移動します。
- ⑥ [PJTモード]を設定できます。
さらに多くのオプションを設定できます。
- ⑦
 - ・ また、リモコンの (クイック設定) ボタンを長押しして、すべての設定を直接実行できます。
- ⑧ クイック設定項目を追加/削除したり、順番を変更したりできます。

- ・ 各項目を入力後、リモコンの**ホイール (OK)** ボタンを長押しすると、対応するメニューに進みます。

[映像]

映像モードの選択

 (クイック設定) →  → [映像] → [モードの選択]

視聴環境、環境設定、動画のタイプに応じて最適な映像モードを選択します。モードに応じて各項目をより細かく調整・設定することで、その特性に合わせて映像をより最適化できます。

- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。
- 入力信号によっては、使用できる画像モードが異なる場合があります。
- オンラインサービスコンテンツを視聴する際、表示コンテンツに合わせて映像モードが変更される場合があります。
- [モードの選択]を変更すると、レンズの絞りが動いて音が出る場合がありますが、これは通常の動作です。



通常の信号を使用する場合

- [あざやか]
コントラスト、明るさ、およびシャープネスを高めて映像をシャープにします。
- [標準]
標準レベルのコントラスト、明るさ、およびシャープネスで映像を表示します。
- [シネマ]
映画用に画面を最適化します。
- [スポーツ]/[サッカー]/[Cricket]
スポーツ試合用に画面を最適化します。ボールを蹴る、投げるといった高速な動きの映像をシャープにします。
- スポーツの名前は地域によって異なる場合があります。
- [ゲームオプティマイザ]
ゲーム用に画面を最適化します。
- [FILMMAKER MODE]
UHD関連技術の標準設定機能であるUHD Allianceによって認定された最適化されたシネマ画質を提供します。
- このモードで操作できる信号が入力されたときに[FILMMAKER MODE]に自動切り替えするには、[FILMMAKER MODE自動切換]を[オン]に設定します。
- [Brightestモード]
適切な映像の条件下で、最大の画面輝度を表示します。
- [エキスパート（明るい空間、昼間）]/[エキスパート（暗い空間、夜間）]
このモードは、暗い環境で見られる映画などに適しています。
[エキスパート（暗い空間、夜間）]は[エキスパート（明るい空間、昼間）]よりも色温度が低くなります。視聴している映画に適したモードを選択します。

HDRを使用する場合

- [あざやか]
コントラスト、明るさ、およびシャープネスを高めて映像をシャープにします。
- [標準]
通常の表示環境では、HDRの表現力と明るさを適切に表示できる画面が開きます。
- [シネマブライト]
[シネマ]画面よりも明るくクリアに表示されます。
- [シネマ]
HDR動画信号に適した映像。
- [ゲームオプティマイザ]
ゲーム用に画面を最適化します。
- [FILMMAKER MODE]
UHD関連技術の標準設定機能であるUHD Allianceによって認定された最適化されたシネマ画質を提供します。
 - このモードで操作できる信号が入力されたときに[FILMMAKER MODE]に自動切り替えするには、[FILMMAKER MODE自動切換]を[オン]に設定します。
- [Brightestモード]
適切な映像の条件下で、最大の画面輝度を表示します。
- HDR技術をサポートしていないモデルにHDR動画信号が入力された場合、通常の信号画像モードオプションが使用可能になります。
- 入力信号によっては、使用できる画像モードが異なる場合があります。
- オンラインサービスコンテンツを視聴する際、表示コンテンツに合わせて画像モードが変更される場合があります。
- [モードの選択]を変更すると、[映像省エネ設定]設定が変更され、消費電力に影響を与える可能性があります。[サポート]→[映像省エネ設定]で設定を変更できます。



画面サイズの設定

 (クイック設定) →  → [映像] → [画面サイズ] → [ユーザー設定]

視聴しているコンテンツの種類に応じて、画面サイズを変更することができます。

- [16:9]
16：9の画面サイズで表示します。
- [オリジナル]
最適な画面比率は、入力される映像信号によって異なります。
- [4:3]
4：3の画面サイズで表示します。
- [垂直方向にズーム]
[ズームの調整]および[画面位置の調整]を使用して、画面の垂直寸法を調整し、画面を垂直方向に揃えます。
- [4方向ズーム]
[ズームの調整]および[画面位置の調整]を使用して、画面の水平/垂直/対角寸法を調整し、画面を水平方向/垂直方向に揃えます。
- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。
- ズームインまたはズームアウトすると、画像が歪む場合があります。
- 元のサイズと異なる画面サイズを選択すると、画像が異なって見える場合があります。
- 映像フォーマットと画面サイズの組み合わせによっては、端が隠れたり黒く表示されたり、映像の両面がちらついたりする場合があります。
- 入力信号によっては、使用可能な画面サイズが異なる場合があります。

[ジャストスキャン]で画面を見る



 (クイック設定) →  → [映像] → [画面サイズ] → [ジャストスキャン]

この機能を[オン]にした場合、コンテンツソース内のアスペクト比でコンテンツを視聴できます。画面の端が綺麗でない場合、[オフ]にしてください。

[自動]に設定されると、この機能は動画信号に含まれる情報に応じて[オン]または[オフ]の状態に切り替わります。

- 選択可能な項目は現在の入力によって異なる場合があります。

画像の明るさを調整する

 (クイック設定) →  → [映像] → [詳細設定] → [明るさ]

画面全体の明るさを調整できます。

- [コントラストの調整]
映像の明るい部分と暗い部分のコントラストを調整します。値が100に近づくほど、コントラストが高くなります。
- [画面の明るさ]
画面の全体的な明るさを調整します。値が100に近づくほど、画面が明るくなります。
[画面の明るさ]設定は、画像の暗い部分の設定に特化して使用することができます。
- [自動ダイナミックコントラスト]
最適な表示にするために、映像の明るさに応じて、画面の明るい部分と暗い部分の差を補正します。
- [HDRトーンマッピング]
HDRコンテンツの画像の明るさに基づく適切なコントラスト設定です。
- [ピーク輝度]
最も明るくなるようにピーク輝度を調整します。
- [ガンマ (明るさ調整)]
映像の中程度の明るさを調整します。
[1.9]/[2.2]/[2.4]/[BT.1886]から選択することができます。
- [BT.1886]は、国際規格であるITU-R BT.1886のグラデーションを表します。
- [黒レベル]
完全な黒を表示するために、画面の暗さを調整します。外部入力デバイスの色域に合わせて、[自動]、[リミテッド]、[フル]のいずれかを選択します。
- この機能は、外部入力を介してコンテンツを視聴しながら使用できます。
- 入力信号または選択した映像モードによっては、使用可能な項目が異なる場合があります。
- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。

[Brightness Optimizer]

⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [映像] → [詳細設定] → [Brightness Optimizer]

[Brightness Optimizer]機能は、動画や周囲の光の状態に応じて、最適な解像度になるようにディスプレイを調整します。[Iris Mode]を使用して周囲の光の状態に応じてプロジェクターの明るさを最適化し、[Adaptive Contrast]機能を使用して画像の明るさを最適化します。

この機能は、特定のモデルでのみ使用できます。

- [Iris Mode]：暗い場所での画質を最適化するには、[DarkRoom]モードの使用をお勧めします。明るい環境で[BrightRoom]モードに設定すると、プロジェクターのアイリスが開き、より鮮明な映像を楽しむことができます。[ユーザー設定]モードでは、明るさの設定を正確に調整できます。
- [Adaptive Contrast]：この機能により、高コントラストを実現できません。

[Brightness Optimizer II]

⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [映像] → [詳細設定] → [Brightness Optimizer II]

[Brightness Optimizer II]機能は、動画や周囲の光の状態に応じて、最適な解像度になるようにディスプレイを調整します。[Auto Brightness]メニューで周囲の明るさに応じて画像の明るさや暗さを調整し、[Adaptive Contrast]機能で元の画像の輝度に応じてコントラストを最適化します。

この機能は、特定のモデルでのみ使用できます。

- [Iris Mode]：暗い場所での画質を最適化するには、[DarkRoom]モードの使用をお勧めします。明るい環境で[BrightRoom]モードに設定すると、プロジェクターのアイリスが開き、より鮮明な映像を楽しむことができます。
- [Adaptive Contrast]：この機能により、高コントラストを実現できません。
- [Auto Brightness]：内蔵の光センサーが外部の光環境を認識し、自動的に画面の輝度を調整します。
- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。

映像の色を調整する

⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [映像] → [詳細設定] → [色]

- [色深度]
画面に表示される色の濃さを上げたり下げたりします。値が100に近づくほど、色の濃さが増します。
- [色合い]
画面上の赤と緑の色バランスを調整します。値が赤50に近づくほど、色が赤色に近づきます。値が緑50に近づくほど、色が緑色に近づきます。
- [色域]
表示する色域を選択します。色域を、信号に応じて[自動検出]に設定するか、より鮮やかで豊かな色を表示する[ネイティブ]に設定します。
- [カラーマネージメント]
エキスパートがテストパターンを使用して制御するときに使用されます。6色 ([赤]/[緑]/[青]/[シアン]/[マゼンタ]/[黄]) の領域を選択して制御できます。
通常の映像の場合、調整を行っても顕著な色の変化は現れないことがあります。
 - [カラーアップグレード]: 映像が彩り鮮やかで明るくなるように、映像の色と彩度を調整します。
 - [色の選択]: [赤]/[緑]/[青]/[シアン]/[マゼンタ]/[黄]から、調整するトーンを選択します。
 - [彩度の調整]/[色合いの調整]/[輝度の調整]: トーンの色深度/色合い/輝度を-30から+30の範囲で調整します。

- [ホワイトバランス]

白を基準に各色がより正確に再現されるように調整する機能により、画面全体の色調を好みに合わせて調整することができます。

- [方式]：この方式は、色温度設定を微調整するために使用されます。

[2ポイント]を選択すると、ビデオの明るい部分と暗い部分の2つのポイントの色温度を制御できます。[10ポイント信号レベル (%)]を選択すると、ビデオの10段階の明るさでの各ポイントの色温度を制御できます。[22ポイント信号レベル (%)]を選択すると、ビデオの22段階の明るさでの各ポイントの色温度を制御できます。



- [ポイント]：色温度調整用の画面の明るさを選択します。
[方式]が[2ポイント]に設定されている場合、[低]を使用してシャドウを選択し、[高]を使用してハイライトを選択します。
[方式]が[10ポイント信号レベル (%)]に設定されている場合、10段階で明るさを選択できます。
[方式]が[22ポイント信号レベル (%)]に設定されている場合、22段階で明るさを選択できます。
- [信号レベル (%)]：色温度調整用の画面の明るさを選択します。
[方式]が[10ポイント信号レベル (%)]に設定されている場合、10段階で明るさを選択できます。
[方式]が[22ポイント信号レベル (%)]に設定されている場合、22段階で明るさを選択できます。
- [最大信号レベル (%) で輝度レベルを表示する]：輝度を最高の100点の信号レベル (%) に調整します。
- [選択した信号レベル (%) で輝度レベルを調整する]：選択した明るさをポイントごとに調整できます。
これらの設定は、[映像]→[モードの選択]が[ライブシアター]、[エキスパート (明るい空間、昼間)]または[エキスパート (暗い空間、夜間)]に設定されており、[方式]が[10ポイント信号レベル (%)]、[22ポイント信号レベル (%)]に設定されている場合にのみ使用できます。
- [赤]/[緑]/[青]：選択したポイントの色温度を調整します。
[赤]/[緑]/[青]の強度を-50から50の範囲で調整します。
[ポイント]で選択した明るさのそれぞれの値を調整できます。

- [色温度]

色温度を高/中/低に調整します。

- 入力信号または選択した映像モードによっては、使用可能な項目が異なる場合があります。
- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。



映像のコントラストを調整する

 (クイック設定) →  → [映像] → [詳細設定] → [鮮明度]



映像のコントラストを調整して、より鮮明に表示することができます。

- [シャープネスの調整]
映像のシャープネスを調整します。値が50に近づくほど、映像がシャープで鮮明になります。
- [超解像]
解像度を調整して、暗くぼやけた映像をよりクリアにします。
- [ピクチャーノイズリダクション]
目立つ小さなドットを取り除いて、映像がクリーンになるようにします。
- [MPEGノイズリダクション]
デジタル映像信号の作成時に生成されたノイズを低減します。
- [スムーズグラデーション]
画像の輪郭がデコボコにならないよう調整し、より滑らかな画面を表示します。
- [シネマスクリーン]
シネマ用にディスプレイを最適化します。
- [TruMotion]
この機能は、特定のモデルでのみ使用できます。
動きの速い映像の品質を最適化します。
 - [オフ]: [TruMotion]をオフにします。
 - [シネマクリア]: 画面上の動きの揺れを調整して、映画館にいるかのように感じさせます。
 - [通常]: 動きの多い画像を自然でクリアに見せます。
 - [スムーズ]: 動きの速い映像をなめらかにします。
 - [ユーザー設定]: [TruMotion]を手動で設定します。
 - [ジャダー調整]: 画面のジャダーを調整します。
 - 詳細設定を変更するには、[ユーザー設定]モードに切り替えてください。
- 入力信号または選択した映像モードによっては、使用可能な項目が異なる場合があります。
- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。



現在の映像設定をすべての入力に適用する

 (クイック設定) →  → [映像] → [詳細設定] → [すべての入力に適用]
指定する設定は、現在選択している入力モードにのみ適用されます。現在の映像設定をすべての入力モードに適用するには、[すべての入力に適用]を選択します。

映像モードの再設定

 (クイック設定) →  → [映像] → [詳細設定] → [初期化]
画像の設定を行った後に、画像の設定を工場出荷時の状態に戻したい場合は、画像モードごとによりセットを選択します。

[FILMMAKER MODEオートスタート]

 (クイック設定) →  → [映像] → [詳細設定] → [FILMMAKER MODEオートスタート]

[オン]に設定します。HDMI入力が映画コンテンツを認識すると、自動的に[FILMMAKER MODE]に切り替わります。

- 制作者の意図がよく伝わるモードですが、他のセレクトモードに比べて暗く見えることがあります。



[音声]

音声モードの選択



 (クイック設定) →  → [音声] → [モードの選択]
ジャンルごとに最も適した音声モードを選択できます。

- [AIサウンド]/[AIサウンドプロ]
コンテンツタイプによって音声を自動的に最適化します。
- [標準]
すべてのタイプのコンテンツ用に音声を最適化します。
- [シネマ]
映画用に音声を最適化します。
- [クリアボイス]/[クリアボイスプロ]
音声の明瞭さが向上します。
- [スポーツ]/[サッカー]/[Cricket]
スポーツ用に音声を最適化します。
- スポーツの名前は地域によって異なる場合があります。
- [音楽]
音楽用に音声を最適化します。
- [ゲームオプティマイザ]
ゲーム用に音声を最適化します。
- 本設定は、プロジェクターの内蔵スピーカー、または[プロジェクターのサウンドモード共有]に対応したHDMI (ARC) 接続デバイスにのみ適用されます。
- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。

[プロジェクタースピーカーの使用]

 (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] → [プロジェクタースピーカーの使用]
音声は、プロジェクターの内蔵スピーカーから再生されます。

[有線スピーカーの使用]

 (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] → [有線スピーカーの使用]

[光デジタル音声出力デバイス]

[光デジタル音声出力デバイス]をサポートするオーディオデバイスを光デジタル音声出力ポートに接続すると、プロジェクターの音声をより高品質で再生でき、利便性も向上します。



- 光デジタルポート搭載モデルでのみ使用できます。
- プロジェクターのリモコンを使用して、一部のデバイスの音量を調整できます。

[HDMI (ARC) デバイス]

HDMI (ARC)ポートを介して接続された外部オーディオデバイスを通じて、プロジェクターの音声を再生できます。

- [HDMI (ARC) デバイス]を選択してSIMPLINKを自動的にオンにします。SIMPLINKをオフにすると、出力スピーカー設定は自動的に元の設定に戻り、音声出力が途切れないようにします。


[ワイヤレススピーカーの使用]

 (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] → [ワイヤレススピーカーの使用]



[Bluetoothデバイス]

BluetoothオーディオデバイスまたはBluetoothヘッドセットを無線で接続すると、プロジェクターの音声をより高品質で再生でき、利便性も向上します。

Bluetoothオーディオデバイスの接続方法と使用方法の詳細については、Bluetoothオーディオデバイスのユーザーマニュアルを参照してください。

-  を押して、接続されているデバイスまたは接続可能なデバイスを表示し、いずれかに接続します。
- LGサウンドシンクデバイスは、プロジェクターの電源を入れると、最近使用したデバイスへの接続を自動的に試みます。
- LGサウンドシンクをサポートしているLGオーディオデバイスを、LG TVモードまたはLGサウンドシンクモードに設定して接続することをお勧めします。
- 一部のモデルはサポートされないことがあります。
- デバイスが接続に失敗する場合は、接続するデバイスの電源を確認し、またオーディオデバイスが適切に動作しているかどうかを確認してください。
- Bluetoothデバイスのタイプによっては、デバイスが適切に接続されなかったり、ビデオと音声同期しないなどの異常な動作が発生したりする可能性があります。(モバイル専用ヘッドセットは機能しない場合があります。)
- 次の場合、音声が途切れたり、音質が低下したりする場合があります。
 - Bluetoothデバイスとプロジェクターの距離が遠い。
 - Bluetoothデバイスとプロジェクターの間に障害物がある。
 - 電子レンジや無線LANなどの他の無線機器と併用している。
- [映像] → [モードの選択] が [ゲームオプティマイザ] のとき、[スピーカー設定] を [Bluetoothデバイス] に設定すると、[映像] → [モードの選択] が [標準] に変更されます。
- Bluetooth接続で問題が解決しない場合は、有線接続を使用することをお勧めします。(光デジタル、HDMI (ARC) ポート)
- デュアルモード/ダブルモード/2チャンネルモードをサポートするBluetoothスピーカーとマジック・ライティングリモコンを併用すると、スピーカーの性能が制限される場合があります。

[複数スピーカーの使用]


 (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] → [複数スピーカーの使用]

音声を複数のデバイスから同時に再生することができます。

[Bluetoothデバイス+プロジェクターのスピーカー]

プロジェクターの内蔵スピーカーとBluetoothスピーカーの両方を使用して、同時に音声を出力したり、サラウンドを利用したりすることができます。

同一モデルのBluetoothデバイスは最大2台まで接続可能です。

- 1  を選択して、Bluetoothスピーカーを接続します。
 - 2 プロジェクターの内蔵スピーカーとBluetoothスピーカーを同期させるには、[オーディオ遅延]を実行します。同期の調整は、自動または手動で行うことができます。
- 画面共有モードでは、映像と音声がずれてしまうことがあります。[スピーカー設定]の[プロジェクタースピーカーの使用]の使用をお勧めします。
 - Bluetoothデバイスの種類によっては、2台のデバイスを同時に接続できない場合があります。
 - Bluetoothデバイスのタイプによっては、デバイスが適切に接続されなかったり、ビデオと音声が同期しないなどの異常な動作が発生したりする可能性があります。
 - 一部のモデルはサポートされないことがあります。

[光出力デバイス+プロジェクタースピーカー]

プロジェクターの内蔵スピーカーと、光デジタル音声出力ポートに接続されたオーディオデバイスから、音声が同時に再生されます。

- 光デジタルポート搭載モデルでのみ使用できます。

[バランス]

⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [音声] → [詳細設定] → [バランス]

左右のスピーカーの音量を調整できます。

- この設定はプロジェクター内蔵スピーカーのみ使用できます。

[イコライザー]

⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [音声] → [詳細設定] → [イコライザー]

音声信号の特定の周波数帯出力を増やしたり減らしたりすることで、音を調整することができます。

- [音声] → [モードの選択] が [標準] に設定されている場合、この項目を有効にすることができます。
- 本設定は、プロジェクターの内蔵スピーカー、または [プロジェクターのサウンドモード共有] に対応した HDMI (ARC) 接続デバイスにのみ適用されます。

[自動音量調整]

⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [音声] → [詳細設定] → [自動音量調整]

[オン] に設定すると、視聴するコンテンツごとに適切な音量に自動的に調整され、より快適に視聴することができます。

- 本設定は、プロジェクターの内蔵スピーカー、または [プロジェクターのサウンドモード共有] に対応した HDMI (ARC) 接続デバイスにのみ適用されます。

[AV同期の調整]

⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [音声] → [詳細設定] → [画面とサウンドを合わせる]



動作しているスピーカーからの音声の同期を調整します。

60に近い値を設定すると、音声出力の速度がデフォルトの速度よりも遅くなります。

[Bypass] を選択した場合、外部デバイスの音声を遅延なく出力します。プロジェクターでは映像入力の処理に時間がかかるため、音声映像より先に出力されてしまうことがあります。



- 調整可能な項目は、[スピーカー設定] によって異なります。

[HDMI入力オーディオフォーマットの選択]

 (クイック設定) →  → [音声] → [詳細設定] → [HDMI入力オーディオフォーマットの選択]



各HDMI入力に音声形式を設定できます。HDMIポートを通して提供される音声同期されていない場合は、[PCM]に設定してください。

[プロジェクターのサウンドモード共有]

 (クイック設定) →  → [音声] → [詳細設定] → [プロジェクターのサウンドモード共有]

[プロジェクターのサウンドモード共有]に対応したLGサウンドバーを接続し、[オン]に設定します。プロジェクターで設定した[音声] → [モードの選択]がサウンドバーにも適用され、様々な音を楽しむことができます。

[サウンドバーモードコントロール]

 (クイック設定) →  → [音声] → [詳細設定] → [サウンドバーモードコントロール]

[サウンドバーモードコントロール]に対応したLGサウンドバーを接続し、[オン]に設定します。サウンドバーのサウンドモードは、プロジェクターの

 (クイック設定) →  → [音声] → [モードの選択]で設定できます。

- モデルによっては、サウンドバーに表示されるサウンドモードの名称が、プロジェクターの[音声] → [モードの選択]と異なる場合があります。この場合は、同様の効果を持つサウンドモードに接続されます。

[LGサウンドシンク]

 (クイック設定) →  → [音声] → [詳細設定] → [LGサウンドシンク]

LGサウンドシンクデバイスを光デジタル音声入力ポートに接続し、[スピーカー設定]を[光デジタル音声出力デバイス]に設定します。本機能を[オン]に設定すると、プロジェクターのリモコンを使用して、接続されているLGサウンドシンクデバイスの音量を調整できます。

- LGサウンドシンクをサポートするサウンドバーの自動電源機能がオンに設定されている場合、プロジェクターの電源をオンまたはオフにすると、サウンドバーが同時にオンまたはオフになります。

[デジタル音声出力]

⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [音声] → [詳細設定] → [デジタル音声出力]



[デジタル音声出力]を設定できます。

- ⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [音声] → [スピーカー設定] → [有線スピーカーの使用]が[光デジタル音声出力デバイス]/[HDMI (ARC) デバイス]に設定されている場合に設定できます。
- [パススルー]が有効であるとき、音声効果が出力されないことがあります。
- デバイスによるコーデック出力は、入力信号により異なる場合があります。

	音声入力	デジタル音声出力
[PCM]	すべて	PCM
[自動]/[パススルー]	MPEG	PCM
	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル
	Dolby Digital Plus / Atmos	(光デジタル音声) Dolby Digital (HDMI ARC) Dolby Digital Plus / Atmos
	Dolby TrueHD (HDMIのみ)	(光デジタル音声) Dolby Digital (HDMI ARC) Dolby Digital Plus / Atmos
	HE-AAC	ドルビーデジタル

- Dolby TrueHD、HDMI eARC、Dolby Atmos: 一部のモデルはサポートされないことがあります。
- HDMI eARCで接続した場合、出力オーディオタイプは、接続デバイスが対応するオーディオタイプによって異なります。
- 接続デバイスや入力音声の種類によっては、ドルビー-MAT PCM (ドルビーメタデータ拡張オーディオ伝送PCM) で出力される場合があります。
- [デジタル音声出力]を[パススルー]に設定し、HDMI入力がドルビー TrueHD、マルチチャンネルPCMの場合、音声をバイパスして出力することができます。



eARC対応オーディオデバイスの使用

 (クイック設定) →  → [音声] → [詳細設定] → [eARCサポート]

eARCは、従来のARCに比べて帯域が広いいため、より多くの音響情報を高速に伝送することができる技術です。接続したオーディオデバイスを通じて、プロジェクターの音をARCよりも高音質で出力することができます。

- 1 HDMI (ARC) 端子にeARCに対応したオーディオデバイスを接続します。
- 2 [スピーカー設定]で[HDMI (ARC) デバイス] → [有線スピーカーの使用]を選択します。
- 3 [eARCサポート]を[オン]に設定します。

音声設定の初期化

 (クイック設定) →  → [音声] → [詳細設定] → [初期化]

[標準]モードのサウンド詳細設定をデフォルトに変更します。

本設定は、プロジェクターの内蔵スピーカー、または[プロジェクターのサウンドモード共有]に対応したHDMI (ARC) 接続デバイスにのみ適用されます。

[機器設定]

[AIサービス]

⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [機器設定] → [AIサービス]

- [AIサウンド]
[オン]に設定すると、ディープラーニング手法で学習したアルゴリズムに基づいて、コンテンツの特性に合わせて画質が自動的に最適化されます。
 - 本設定は、プロジェクターの内蔵スピーカー、または[プロジェクターのサウンドモード共有]に対応したHDMI (ARC) 接続デバイスにのみ適用されます。
- [音声認識のヘルプ]
音声により、利用できる機能を確認することができます。
- [音声認識の設定]
音声認識に関する機能を設定することができます。
- [AIおすすめ]
コンテンツの視聴履歴やアプリの利用履歴に従い、コンテンツのレコメンドメッセージを取得できます。
 - [スマートヒント]: プロジェクターやアプリを使用する際に、便利なスマート機能を知ることができます。
 - [次のおすすめ]: プロジェクターでのコンテンツ視聴パターンに応じて、おすすめの内容を受け取ることができます。
 - 本機能は一部の国では使用できない場合があります。
 - [利用履歴のリセット]: コンテンツの視聴履歴とアプリの利用履歴がリセットされます。これらをリセットした場合、もう一度、コンテンツのレコメンドメッセージが届くまでに時間がかかります。
- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。

[ゲームオプティマイザ]



 (クイック設定) →  → [機器設定] → [ゲームオプティマイザ]

ゲーム機で遊ぶときの臨場感を演出するための機能を設定します。

1 リモコンの  (クイック設定) ボタンを押します。

2 画面の  を選択します。

3 [オン]を選択すると、関連するすべての設定がオンになります。

- HDMI入力でのみ動作します。
- [ゲームオプティマイザ]を[オン]に設定した場合、[スピーカー設定]を [Bluetoothデバイス]/[WiSAスピーカー]/[光デジタル音声出力デバイス]/ [HDMI (ARC) デバイス]に設定すると、音声の遅延が発生することがあります。
- [プロジェクタースピーカーの使用]に切り替えるか、
 (クイック設定) →  → [音声] → [詳細設定] → [HDMI入力オーディオフォーマットの選択]を[PCM]に変更します。
- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。

プロジェクターの設定

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [デバイス] → [プロジェクター管理]

- [モード設定]

[ホームモード]または[パブリックモード]を選択できます。



プロジェクターをご家庭で使用する場合は、[ホームモード]を選択します。

[パブリックモード]は、プロジェクターを店舗に展示する場合にのみ選択します。[パブリックモード]を選択すると、店舗での展示に最適な設定になります。

- [プロジェクター情報]

[モデル]、[シリアルナンバー]、[機器名]などの情報を確認できます。

外部デバイス接続の管理

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [デバイス] → [設定]

プロジェクターに接続されたスマートデバイスを使用して、プロジェクターを制御したり、接続履歴を管理したりするように設定できます。

設定可能な項目は、モデルによって異なります。

• [Bluetoothコントローラーの接続]

Bluetooth対応のキーボードやマウス、ゲームパッドなどのデバイスをプロジェクターに接続して使用することができます。

デバイスの電源をオンにし、ペアリングモードに設定してから、プロジェクターの画面で[接続]をクリックします。以前に接続したことのあ
るデバイスの電源を入れると、自動的にプロジェクターに接続されま
す。既存の接続を切断するには、[切断]をクリックします。

- LG製プロジェクターとの互換性について検査済みの製品を使用することをお勧めします。

Bluetoothキーボード：LG Rolly Keyboard2 KBB-710、Arteck HB192、LOGITECH K480、Apple Magic Keyboard、Arteck HB030B Keyboard

Bluetoothマウス：LOGITECH Mx Master 2S、LOGITECH M535、Apple Magic Mouse2

Bluetoothゲームパッド：SONY Dualshock4、MICROSOFT Xbox One S、NVIDIA Shield Controller

- 本機能は、Bluetooth対応モデルでのみ使用できます。

- 複数のBluetoothデバイスを接続すると、接続や動作が不安定になることがあります。

- Bluetoothデバイスとプロジェクターの距離が離れていたり、両者の間に障害物があったりすると、正常に動作しない場合があります。

- 周辺デバイス（無線LANルーター、電子レンジなど）によって、通信障害が発生する場合があります。

- [登録済デバイス]から選択したデバイスが再接続されない場合は、[切断]してからデバイスを再接続してください。

- デバイスごとに異なります。デバイスに接続するときは、デバイスのユーザーズガイドを参照して、詳細を確認してください。

• [ユニバーサルコントロールの設定]

ユニバーサルリモコンを設定すると、プロジェクターに接続された周辺デバイスを、それぞれのリモコンではなく、マジック・ライティングリモコンで操作することができます。

詳細については、「ユニバーサルリモコン」を参照してください。

- [モバイルデバイスで、プロジェクターの電源をオンにします。]
[Wi-Fi経由でオンにする]または[Bluetooth経由でオンにする]が[オン]に設定されている場合、[モバイルデバイスで、プロジェクターの電源をオンにします。]に対応するアプリを使用してプロジェクターを起動するか、プロジェクターでアプリ画面を見ることができます。
 - プロジェクターをネットワークに接続しておく必要があります。
 - プロジェクターおよび使用するデバイスが同じネットワークに接続されている必要があります。
 - [Wi-Fi経由でオンにする]機能は、その機能に対応するアプリまたはスマートデバイスで使用する必要があります。
 - [Bluetooth経由でオンにする]機能は、一部のLG Electronicsのスマートフォンでのみ使用できます。
 - プロジェクターが電源に接続されている必要があります。
 - 初めて接続する際には、使用するデバイスの接続準備ができていることを確認します。
 - 一部のモデルはサポートされないことがあります。
- [接続履歴を削除する]
無線LANでプロジェクターに接続しているデバイスの接続履歴を削除することができます。

HDMI外部入力の設定

⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [機器設定] → [デバイス] → [HDMI設定]

HDMI接続されたデバイスの鮮明な映像と簡単な操作性のための設定を適用することができます。

[HDMI Ultra HD ディープカラー]

[HDMI Ultra HD ディープカラー]機能に対応したデバイスを接続すると、より鮮明な映像を見ることができます。再生デバイスを接続し、[HDMI Ultra HD ディープカラー]を[4K]に設定します。

デバイスがこれをサポートしていない場合、正常に動作しない可能性があります。

この場合、[HDMI Ultra HD ディープカラー]設定を[オフ]に変更してください。

- サポートされる表示解像度
 - 4K: 4K@60 Hz (4:4:4、4:2:2、4:2:0) をサポートします
 - オフ: 4K@60 Hz (4:2:0) をサポートします
- 4K@50/60 Hzのサポート形式

解像度	フレームレート (Hz)	色深度/彩度サンプリング		
		8ビット	10ビット	12ビット
3840 × 2160p 4096 × 2160p	50	YCbCr 4:2:0	YCbCr 4:2:0 ¹⁾	
	59.94	YCbCr 4:2:2 ¹⁾		
	60	YCbCr 4:4:4 ¹⁾	-	-
		RGB 4:4:4 ¹⁾	-	-
1)[HDMI Ultra HD ディープカラー]が[4K]に設定されているときサポートされます。				



- 設定を変更できるのは、現在使用中のHDMI入力だけです。
- 各HDMIポートに対して異なる設定にできます。
- 一部のモデルはサポートされないことがあります。

[SIMPLINK (HDMI-CEC)]

HDMI経由で接続したさまざまなマルチメディア機器を、プロジェクターのリモコンで制御および使用できるので便利です。

詳細については、「SIMPLINKの使用」を参照してください。

有線ネットワークの設定

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [ネットワーク] → [有線ネットワーク接続]



ネットワークの設定を行う場合、オンラインコンテンツやアプリケーションなどのさまざまなサービスを使用できます。

ネットワークに接続されているルーターがDHCP機能をサポートしている場合、プロジェクターとルーターを有線で接続すると、自動的にネットワークに接続されます。

自動設定がサポートされていない場合は、[編集]を選択して手動でネットワーク接続を設定できます。



- IPv6設定は[編集]をサポートしません。

無線ネットワークの設定

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [ネットワーク] → [無線ネットワーク接続]

ネットワークの設定を行う場合、オンラインコンテンツやアプリケーションなどのさまざまなサービスを使用できます。

プロジェクターを無線ネットワーク用に設定すれば、利用可能な無線インターネットネットワークを確認して接続することが可能です。

- 1 リモコンの  (クイック設定) ボタンを押します。
 - 2  → [機器設定] → [ネットワーク] → [無線ネットワーク接続] を選択します。
 - 3 [オン] に設定します。
 - 4 接続する無線ルーターを選択します。
より詳細な設定は、[その他のネットワーク] を選択してください。
- [非表示の無線ネットワークを追加]
ネットワーク名を直接入力すれば、ワイヤレスネットワークを追加することができます。
 - [WPS-PBCで接続]
接続する無線ルーターにWi-Fi Protected Setupプッシュボタン構成 (WPS-PBC、安全な無線ネットワーク接続を設定するためのボタン) 機能がある場合は、ルーターのWPS-PBCボタンを押すことで、無線ルーターに簡単に接続できます。無線ルーターのWPS-PBCボタンを押してから、プロジェクターの[接続]ボタンを押します。
 - [WPS-PINで接続]
これは、Wi-Fi Protected Setup個人識別番号 (WPS-PIN) を使用して、アクセスポイントに接続する方法です。接続するアクセスポイント (AP) を選択します。アクセスポイントのWi-Fiデバイスに表示されているPINを入力します。
 - [Wi-Fi詳細設定]
ワイヤレスネットワークに接続すると、詳細なIPアドレス情報などの接続情報を表示できます。また、[編集]ボタンを押すことで、接続したIPアドレスやDNSサーバーアドレスを変更することができます。
- IPv6設定は[編集]をサポートしません。

言語の設定

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [システム] → [言語設定]

画面に表示されるメニュー言語を選択できます。

- [メニュー言語]

画面に表示されるメニュー言語のいずれかを選択できます。音声認識の言語は、メニューで選択した言語に自動的に設定されます。

– 音声認識は一部のモデルにのみ適用されます。

- [キーボード言語]

オンスクリーンキーボードの言語を選択します。

ロケーションの設定

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [システム] → [地域設定]

プロジェクターの地域設定を変更できます。

設定可能な項目は、モデルによって異なります。

- [放送国家]

放送国を選択します。

- [住所の設定]/[郵便番号]

詳細な場所を設定できます。

– 放送国の設定により変更されることがあります。

- [サービス対象国]

LGのサービスにアクセスする国を選択してください。サービスは場所によって異なる場合があります。

– ネットワークに接続していない場合、国を手動で設定する必要があります。

時刻の設定



⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [機器設定] → [システム] → [時刻とタイマー設定]

時刻の確認や関連する設定を行うことができます。

設定可能な項目は、モデルによって異なります。

- [自動で設定]
 - プロジェクトアの時間を自動的に設定します。
- [時刻]/[日付]/[時刻設定]
 - 日付や時刻などを手動で設定することができます。
- [カスタムタイムゾーン]
 - [時刻設定]が[カスタム]に設定されている場合、[カスタムタイムゾーン]が有効になります。
- [タイマー]
 - [スリープタイマー]
 - 指定された時刻にプロジェクトアの電源がオフになるように設定します。
 - [スリープタイマー]を無効にする場合は、[オフ]を選択します。
 - [オンタイマー]
 - [オンタイマー]を[オン]に設定します。
 - プロジェクトアは設定された時間にオンになります。
 - [時刻]：電源投入時刻を設定します。
 - [タイマー繰り返し]：曜日を設定します。機能を1回だけ操作するには、[なし]に設定します。
 - [入力切換]：電源投入時に表示する外部入力を設定します。
 - [音量]：電源投入時に使用する音量を設定します。
 - [オフタイマー]
 - [オフタイマー]を[オン]に設定します。
 - プロジェクトアは設定された時間にオフになります。
 - [時刻]：プロジェクトアの電源を切る時刻を設定します。
 - [タイマー繰り返し]：曜日を設定します。機能を1回だけ操作するには、[なし]に設定します。
 - [自動オフ]
 - 入力信号がないか、ボタンを押していない場合、事前に設定した時間の経過後にプロジェクトアの電源が自動的にオフになります。
- [オンタイマー]/[オフタイマー]を使用するには、時刻を正しく設定してください。

[ロック]に設定します










 (クイック設定) →  → [機器設定] → [システム] → [ロック]

[ロック]を設定するには、[オン]を設定します。



- [アプリの使用制限]
アプリケーションをロックまたはロック解除できます。
- 現在実行されているアプリケーションは、すぐにはロック機能を使用できません。
- [入力のロック]
入力を、ロックまたはロック解除できます。
- [パスワードのリセット]
プロジェクターのパスワードを設定または変更します。
- 初期パスワードは「0000」に設定されています。
 国としてフランスが選択されている場合、パスワードは「0000」ではなく「1234」です。

パスワードを忘れた場合のリセット



設定したパスワードを忘れた場合は、次のようにリセットできます。

- 1  (クイック設定) →  → [機器設定] → [システム] → [ロック]を選択します。
- 2 リモコンの   →   →   →   を押します。マスターパスワード入力ウィンドウが開きます。
- 3 マスターパスワード入力ウィンドウに数字「0313」を記入し、続いて[入力]を押します。パスワードがリセットされます。



LGアカウントの管理

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [システム] → [LGアカウント]
[LGアカウント]で、メールアドレスを使用して新規LGアカウントを作成できます。

[お知らせ]の使用



 (クイック設定) →  → [機器設定] → [システム] → [追加システム設定] → [お知らせ]
プロジェクターのアプリおよびLGサービスからすべての通知を同時に閲覧できます。各通知メッセージを閲覧・削除し、ショートカットをサポートする通知を使って、アプリまたはWebサイトに直接移動できます。

[ホーム設定]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [システム] → [追加システム設定] → [ホーム設定]

- [ホーム自動起動]
プロジェクターの電源を入れたときに自動的に起動するようにホームを設定できます。
- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。

[ポインター設定]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [システム] → [追加システム設定] → [ポインター設定]

ポインターの速度とサイズを、画面に表示されている間に設定できます。

- [ポインター表示速度]
ポインターの速度を設定します。
- [ポインタサイズ]
ポインターのサイズを選択します。

デフォルト設定に戻す



 (クイック設定) →  → [機器設定] → [システム] → [初期化]

プロジェクターを初期設定に戻します。この設定を行うと、すべての設定がデフォルト値に戻ります。

初期化の後、プロジェクターの電源は自動的にオフになってから、オンになります。



- [ロック]を[オン]に設定した場合、[初期化]にパスワードを入力する必要があります。
- 初期化中に電源をオフにしないでください。
- 第三者に売却し引き渡す前に、[初期化]でプロジェクターを初期化することをお勧めします。

音声ガイダンスを利用する

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [ユーザー補助] → [音声ガイダンス]
[音声ガイダンス]が[オン]に設定されている場合、音量を調整したとき、設定や入力信号を変更したときなど、さまざまな状況で音声ガイドが流れます。



- [速度]
音声ガイドの速度を調整します。
- [音量]
音声ガイドの音量を調整します。
- [ピッチ]
音声ガイドのトーンを調整します。
- この機能は、特定の言語でのみ使用できます。
- 一部のモデルはサポートされないことがあります。
- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。
- 視覚障害のあるユーザー向けです。

[プロジェクター電源サウンド]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [ユーザー補助] → [プロジェクター電源サウンド]



プロジェクターの電源のオン/オフを音で知らせてくれます。デジタル音声出力をパススルーに設定した場合、音声が出力されないことがあります。

[メニューをハイコントラスト画面に変更]



 (クイック設定) →  → [機器設定] → [ユーザー補助] → [ハイコントラスト]

この機能が[オン]になっている場合、画面のメニューやフォントの色の一部の背景を変更することで、明るい部分と暗い部分のコントラストを強調できます。

[グレースケール]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [ユーザー補助] → [グレースケール]
画面に表示されるメニューの色を白黒基調に変更し、その曖昧さを明確にします。[オン]に設定します。

[色の反転]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [ユーザー補助] → [色の反転]
画面上のメニューの視認性を高めるために、一部のメニューで特定の色を反転および調整できます。[オン]に設定します。

[設置]

[PJTモード]

⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [設置] → [PJTモード]

この機能を使用すると、投写される映像の上下または左右が逆になります。

[フォーカスの調整]

⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [設置] → [フォーカスの調整]

プロジェクションスクリーンのフォーカスを調整するのに使用されます。画面やリモコンの左右ボタンで、プロジェクションスクリーンのフォーカスを調整します。

[エッジ調整]


⚙️ (クイック設定) → ⋮ → [設置] → [エッジ調整]

プロジェクターが画面に対して角度がついて直角でない場合、[エッジ調整]で、映像の水平方向、垂直方向を調整します。この機能により、投影された映像の形の歪みを防げます。

この機能は、プロジェクターが最適な角度に設置できないときのみ使用します。[エッジ調整]により、画像の品質が落ちることがあります。

- 一部のモデルはサポートされないことがあります。
- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。
- [4ポイント]/[9ポイント]/[15ポイント]のいずれかを選択して、画面を調整できます。
- [4ポイント]
4ポイントを使用して、画面のゆがみを調整できます。
- [9ポイント]
9ポイントを使用して、画面のゆがみを調整できます。
- [15ポイント]
15ポイントを使用して、画面のゆがみを調整できます。

[高高度]

 (クイック設定) →  → [設置] → [高高度]

標高1,200 mよりも高い場所でプロジェクターを使用する場合は、この設定をオンにしてください。

オフのまま使用すると、プロジェクターが過熱したり、保護機能が作動することがあります。その場合は、プロジェクターの電源をオフにして、数分待ってから再度オンにしてください。

- 一部のモデルはサポートされないことがあります。

[リモコンの電源]



 (クイック設定) →  → [設置] → [リモコンの電源]

LGテレビのリモコンの電源ボタンは、プロジェクターと別々でも一緒でも使うことができます。

- [プロジェクター + TV]
プロジェクターとテレビの電源を一緒に使うことができます。
LG TVリモコンでプロジェクターをオン/オフにすることができます。
- [プロジェクターのみ]
プロジェクターとテレビの電源を別々に使用することができます。
LG TVリモコンでプロジェクターをオン/オフにできません。
- プロジェクターのモデルによっては、この機能に対応していないものもあります。
- 他社製品との互換性はありません。

[サポート]

[ソフトウェアアップデート]

 (クイック設定) →  → [サポート] → [ソフトウェアアップデート]
ソフトウェアを更新する必要がある場合は、ソフトウェアアップデートを実行して、使用する最新のソフトウェアバージョンを適用します。

- [自動更新]

[オン]に設定すると、バージョンチェック後に新しいアップデートがあるかどうかを確認することなく、アップデートが自動的に続行されます。

- [アップデートの確認]

最新のアップデートバージョンを確認する際、アップデートファイルや新しいバージョンがある場合のみ更新できます。プロジェクターは自動的にソフトウェアバージョンを確認しますが、必要に応じて手動で確認することもできます。



- 設定可能な項目は、モデルによって異なります。

- 最新のバージョンはインターネット接続を通して取得できます。

- ソフトウェアが更新されていない場合、一部の機能が正常に動作しない場合があります。

- 一部の国では、インターネットに接続していない場合、[自動更新]が表示されません。

映像省エネ設定機能を使うには



 (クイック設定) →  → [サポート] → [映像省エネ設定]

画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。

[省エネステップ]機能を使用すると、プロジェクターの明るさに影響しません。

- [省エネステップ]
 - [最小]/[中]/[最大]：事前に設定した映像省エネ設定モードを適用します。
- [自動電源オフ]
 - プロジェクターの電源が入っている状態で、設定した時間内にボタンを押さない場合、自動的に電源が切れます。
 - 一部のモデルはサポートされないことがあります。



[画面の自己診断]

 (クイック設定) →  → [サポート] → [画面の自己診断]

映像テストを開始して、ビデオ信号出力が正常であることを確認し、続いてエラーがあるかどうかを選択します。

テストで問題がない場合は、接続された外部デバイスを確認してください。



[サウンドの自己診断]

 (クイック設定)) →  → [サポート] → [サウンドの自己診断]

音声テストを開始して、音声信号出力が正常であることを確認し、続いてエラーがあるかどうかを選択します。

テストで問題が見つからなかった場合は、接続されている外部デバイスを確認してください。



[利用規約 & 法的情報]

 (クイック設定) →  → [サポート] → [利用規約 & 法的情報]

- [利用規約]
スマートプロジェクター関連サービスの使用に関するプライバシーの利用規約です。
- [法的通知]
プロジェクターを介して提供されるサービスに関する法的通知です。
- [オープンソースソフトウェアに関する通知]
各項目の説明を表示できます。



トラブルシューティング


製品の使用中に次の症状が発生した場合は、以下を確認してください。故障ではない可能性があります。

製品の問題に対するカスタマーサービスに関する情報は、プロジェクターの  (クイック設定) →  → [サポート]にあります。

[クイックヘルプ]を使った解決方法

プロジェクターが誤動作した場合、問題を解決することができます。

リモコンの  (クイック設定) ボタンを押して、 → [サポート] → [クイックヘルプ]を選択します。

また、リモコンの数字  ボタンを長押しして、[クイックヘルプ]を実行できます。

- [最適化設定]
プロジェクターの全体的なステータスを自動的に確認し、推奨設定値を表示および変更できます。
- [項目確認]
問題項目を選択し、問題を解決することができます。
 - [プロジェクター設定自己診断]: 症状に一致する項目を選択し、問題の解決に役立つ手順を検索します。
 - [プロジェクターの状態確認]: 選択された項目に対して、プロジェクターの現在の状態を確認できます。
- [LGリモートサービス]
リモートサービスを介して問題を解決するためのヘルプが表示されます。[LGリモートサービス]の場合は、必ずLG Electronicsカスタマーサービスセンターにご連絡ください。
 - 一部のモデルはサポートされないことがあります。
 - 本機能は一部の国では使用できない場合があります。
- [クイックヘルプ]に関連するコンテンツがない場合は、「トラブルシューティング」を参照してください。
- 問題が解決できない場合は、カスタマーサービスセンターに連絡してください。

電源/リモートのトラブルシューティング

製品の使用中に次の症状が発生した場合は、以下を確認してください。故障ではない可能性があります。





プロジェクターの電源が入らない。

- プロジェクターの電源プラグがコンセントと接続されていることを確認してください。
- マルチコンセントを使用している場合、正常に動作していることを確認してください。電源ストリップが正常に動作しているかどうかを確認するために、プロジェクターの電源プラグをコンセントに直接接続し、その動作を確認してください。
- プロジェクターのボタンを使用して電源を入れてください。
- 待機電力カットスイッチを使用している場合は、待機電力カットをオフにしてから電源を入れ直してください。

電源は入っているが、画面がしばらく点灯しない。

- 電源投入時に画面からノイズが出る可能性があるため、後から画面が点灯することがありますが、これは不具合の兆候ではありません。

マジック・ライティングリモコンのポインターが画面に表示されない。

- リモコンをプロジェクターに向けて持ち、と (クイック設定) ボタンを指示が出るまで5秒以上同時に押します。以前に登録したリモコンの登録を解除してから、再度登録します。
- プロジェクター画面に電池を交換するように表示されたら、電池を交換してください。(アルカリ電池のみを使用してください。)
-  (クイック設定) →  → [機器設定] → [ユーザー補助] → [音声ガイド] が [オン] に設定されている場合、マジック・ライティングリモコンのポインターは表示されません。
[音声ガイド] を [オフ] に設定します。(一部のモデルはサポートされないことがあります。)

リモコンでプロジェクターの電源をオンにできない。



- プロジェクターの電源プラグがコンセントと接続されていることを確認してください。
- リモコンの電池を交換してください。（アルカリ電池のみを使用してください。）
- プロジェクターをリモコンセンサーの前に障害物がないことを確認してください。サウンドバーまたはプロジェクターの下部レーザーの正面に置かれた他の障害物が、IR信号の受信を妨げる可能性があります。

突然電源が切れる。


- [オフタイマー]が設定されていることを確認してください。
- また、製品の内部温度が異常または過度に上昇したために、内部保護回路が作動した可能性もあります。

画面のトラブルシューティング



製品の使用中に次の症状が発生した場合は、以下を確認してください。故障ではない可能性があります。

まず、 (クイック設定) →  → [サポート] → [画面の自己診断]を実行して、プロジェクターに異常がないかを確認します。
セットトップボックスを使用している場合、電源を切ってから再度電源を入れてください。
セットトップボックスが現在プロジェクターと接続されていることを確認してください。

画面に信号がないと表示される。

- 外部デバイスに接続されているケーブルがプロジェクターに正しく接続されているか確認してください。
-  から接続される入力装置を選択してください。
- セットトップボックスやブルーレイプレイヤーなどの外部機器の電源が入っていることを確認してください。



投影画像の一部が途切れている。

-  (クイック設定) →  → [映像] → [画面サイズ]を変更してみてください。



水平または垂直の線および網目模様が瞬間的に表示された後、画面が揺れる。

- ワイヤレス電話、ヘアドライヤー、電気ドリルなどを接続しているコンセントとは別のコンセントを使用してください。この問題は、別のプロジェクターなどの高周波電子機器、または強力な電磁気源が原因です。





画面の上下左右の隅に縦線が見えていて、また、HDMIに接続しようとするとき色が滲んでいる。

-  (クイック設定) →  → [映像] → [画面サイズ] → [ジャストスキャン]
[ジャストスキャン]を[オフ]に設定します。
[ジャストスキャン]で元の映像がそのまま表示されます。信号にノイズが含まれている場合、画面の左右上下の隅にノイズが見えることがあります。


HDMIケーブルを接続しても、何も表示されない、画像がちらつき続ける。

- HDMI®ケーブルが仕様に適合しているかどうかを確認してください。HDMI®に障害があるとき(曲がっている、破損している)、画面のちらつき、画面の空白が発生することがあります。
- ケーブルがポートに正しく接続されていることを確認してください。不良な接点または緩んだ接点により、画面上に表示の問題が発生する可能性があります。
- UHDセットトップボックスを使用する場合は、 (クイック設定) →  → [機器設定] → [デバイス] → [HDMI設定] → [HDMI Ultra HD ディープカラー]を調整してください。

画面がぼやけたり、暗く見える。



-  (クイック設定) →  → [映像] → [モードの選択]
[モードの選択]で希望する映像モードに切り替えてください。(標準、あざやかなど)これは現在の入力モードにのみ適用されます。
-  (クイック設定) →  → [サポート] → [映像省エネ設定] → [省エネステップ]
[省エネステップ]を[最小]に切り替えます。

画面に白黒または奇妙な色が表示される。

- 入力モードまたはケーブル接続を確認してください。
-  から接続される入力装置を選択してください。
- [ハイコントラスト]、[グレースケール]、[色の反転]の設定を確認してください。

音声のトラブルシューティング



製品の使用中に次の症状が発生した場合は、以下を確認してください。故障ではない可能性があります。

まず、 (クイック設定) →  → [サポート] → [サウンドの自己診断]を実行して、プロジェクターに異常がないかを確認します。



セットトップボックスを使用している場合、電源を切ってから再度電源を入れてください。

セットトップボックスが現在プロジェクターと接続されていることを確認してください。



画面は良好だが、音声再生されない。

- セットトップボックスを使用している場合、セットトップボックスまたはプロジェクターの音量を0に設定している場合、またはミュート(消音)が設定されている場合は、音が出ません。音量を適切なレベルに設定してください。
-  (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] [スピーカー設定]を[光出力デバイス+プロジェクタースピーカー]または[プロジェクタースピーカーの使用]に設定し、再度確認してください。正常に音が聞こえる場合は、サウンドバーなどの外部スピーカーの接続や、外部スピーカーの設定を確認してください。

スピーカーから音声が届かない。

-  (クイック設定) →  → [音声] → [詳細設定] → [バランス] [バランス]のナビゲーションボタンを使って、必要に応じて、バランスを調整してください。

PC接続のトラブルシューティング

リモコンの  ボタンを長押しします。[ホームダッシュボード]の右上にある  →[編集]→[入力の編集]を選択します。編集モードで、PCに接続されるHDMI端子のアイコンを[PC]に設定し、ビデオおよびアスペクト比をPCの設定に合わせてください。



製品の使用中に次の症状が発生した場合は、以下を確認してください。故障ではない可能性があります。

異なるデバイスを同じ入力端子に接続するには、編集アイコン設定が自動的に復元されないため、アイコンをもう一度設定する必要があります。

PCに接続した後も画面がブランクのままになっている。

- PCがプロジェクターに正しく接続されていることを確認します。
- リモコンでプロジェクターの電源をオフにして再度オンにします。
- プロジェクターをオンにした状態でPCを再起動します。
- PCで設定された出力解像度がプロジェクターのHDMI-PCでサポートされている解像度に設定されていることを確認してください。
- デュアルモニターを使用する場合は、PCまたはノートPCがデュアルモニターモードをサポートしていることを確認します。
- ハイスピードHDMI®ケーブルを接続し直します。
- PCのRGB出力ポートをHDMI入力ポートまたはプロジェクターに接続していた場合、RGBをHDMIのジェンダーに変換する必要があります。HDMIからRGBへの変換器を使用した場合、画面に何も映りません。

PCに接続した後、画面が欠損したり、片側に寄ったりする。

- PCの解像度をプロジェクターによりサポートされる解像度に設定してください。
- 接続されるHDMIデバイスの名前をPCに設定してください。
リモコンの  ボタンを長押しします。[ホームダッシュボード]の右上にある  →[編集]→[入力の編集]を選択します。[入力切換]に接続されているHDMIポートのアイコンをPCに変更し、[保存]を選択します。

PCをHDMI®ケーブルで接続すると音声が発生しない。

- PC設定で、コントロールパネル→音声→再生→LGプロジェクターをデフォルトデバイスとして設定します。
- グラフィックカードがHDMI音声出力をサポートするかどうかについて、メーカーにご相談ください。

ムービー再生時のトラブルシューティング

製品の使用中に次の症状が発生した場合は、以下を確認してください。故障ではない可能性があります。

詳細情報と対応ファイルに関しては、「[メディアプレイヤー]の使用」をご覧ください。

[メディアプレイヤー]にファイルが見つからない。

- USBストレージデバイスのファイルをPCで読み取れることを確認します。
- ファイル拡張子がサポートされていることを確認します。
- フィルターを[すべて]に変更します。

「このファイルはサポートされていません」というメッセージが表示されるか、音声は通常どおり再生されるが動画が再生されない。

- PCのビデオプレーヤーでファイルが問題なく再生されることを確認します。ファイルが破損していないことも確認してください。
- ファイル拡張子がサポートされていることを確認します。
- 解像度がサポートされていることを確認します。
- ビデオコーデックがサポートされていることを確認します。
- フレームレートがサポートされていることを確認します。

「この音声はサポートされていません」というメッセージが表示されるか、動画は通常どおり再生されるが音声再生されない。

- PCのビデオプレーヤーでファイルが問題なく再生されることを確認します。ファイルが破損していないことも確認してください。
- ファイル拡張子がサポートされていることを確認します。
- 音声コーデックがサポートされていることを確認します。
- ビットレートがサポートされていることを確認します。
- サンプルレートがサポートされていることを確認します。
- 音声チャンネルの分離がサポートされていることを確認します。

字幕が表示されない。

- PCのビデオプレーヤーでファイルが問題なく再生されることを確認します。ファイルが破損していないことも確認してください。
- ビデオファイルと字幕ファイルが同じ名前であることを確認します。
- ビデオファイルと字幕ファイルが同じフォルダーにあることも確認してください。
- 字幕ファイルの形式がサポートされていることを確認します。
- 言語がサポートされていることを確認します。（字幕ファイルの言語は、メモ帳でファイルを開いて確認できます）。字幕のエンコードが正しく設定されていないと、字幕が正しく表示されないことがあります。ビデオ再生時にリモコンの▽ボタンを押します。
■字幕を選択して[コードページ]の値を変更します。
- コンテンツ共有機能を利用して別のデバイスに保存されている動画ファイルを再生する場合、使用するプログラムによっては、字幕を使用できないことがあります。
- NASユニットを通してビデオを再生している場合、字幕はサポートされません。NASメーカーにご相談ください。

USBストレージデバイスを接続しても認識されない。





- USBストレージデバイスがプロジェクターによりサポートされるかどうかを確認してください。
詳細については、「USBの接続」を参照してください。

ネットワーク接続のトラブルシューティング

製品の使用中に次の症状が発生した場合は、以下を確認してください。故障ではない可能性があります。





無線LANに接続する前に、接続するWi-Fiデバイスの名前とパスワードを確認してください。

ネットワーク接続状況を以下のように確認できます。

-  (クイック設定) →  → [機器設定] → [ネットワーク] → [有線ネットワーク接続]
-  (クイック設定) →  → [機器設定] → [ネットワーク] → [無線ネットワーク接続] → [その他のネットワーク] → [Wi-Fi詳細設定]

× × × プロジェクターの次にXが表示される場合

- プロジェクターまたはAP (ルーター) を確認します。
- プロジェクター、AP (ルーター)、およびケーブルモデムの接続ステータスを確認します。
- 次の順序で電源をオフにしてから、オンにします。
 1. ケーブルモデム。ケーブルモデムが初期化されるのを待ちます。
 2. プロジェクター。
- 有線LAN接続を確立する場合は、ルーターからIPアドレスを正しく取得できるかどうかを確認してください。ネットワークを手動で設定する場合は、すべての設定が正しいかどうかを確認してください。
- 無線LAN接続を確立する場合は、以下の点も確認してください。
 1. ルーターのSSID (ネットワーク名) または無線チャンネルを設定します。
 2. ルーターのセキュリティキーを設定します。
 この設定がわからない場合は、ルーターの取扱説明書およびインターネットプロバイダーが提供するマニュアルを確認してください。それでもわからない場合は、ルーターのメーカーまたはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。
- 静的IPを使用している場合は、IPを直接入力します。

  ×  ×  **ゲートウェイの次にXが表示される場合**

- AP（ルーター）を確認するか、インターネットサービスプロバイダに問い合わせます。
- AP（ルーター）、ケーブルモデムの電源コードを抜いて、10秒間待ちます。電源を再度オンにします。
- AP（ルーター）またはケーブルモデムを初期化（リセット）します。
- AP（ルーター）のメーカーのWebサイトにアクセスして、ルーターに最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。
- この設定がわからない場合は、ルーターの取扱説明書およびインターネットプロバイダーが提供するマニュアルを確認してください。それでもわからない場合は、ルーターのメーカーまたはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。

   ×  **DNSの次にXが表示される場合**

- AP（ルーター）を確認するか、インターネットサービスプロバイダに問い合わせます。
- AP（ルーター）、ケーブルモデムの電源コードを抜いて、10秒間待ちます。電源を再度オンにします。
- AP（ルーター）またはケーブルモデムを初期化（リセット）します。
- プロジェクター/AP（ルーター）のMACアドレスがインターネットサービスプロバイダに登録されていることを確認します。（ネットワークステータスウィンドウのペインに表示されたMACアドレスをインターネットサービスプロバイダに登録する必要があります）。
- この設定がわからない場合は、ルーターの取扱説明書およびインターネットプロバイダーが提供するマニュアルを確認してください。それでもわからない場合は、ルーターのメーカーまたはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。

LGアカウントのトラブルシューティング

一部の国では、Webサイト（www.lgapstv.com）へのアクセスが制限される場合があります。

プロジェクターはサインアップされています。Webサイト（www.lgapstv.com）で再度登録する必要がありますか？

- プロジェクターにサインアップした際に使用した会員情報で、Webサイトをご利用いただけます。

パスワードを忘れてしまいました。どうすればよいですか？



- プロジェクターのログイン画面で、[パスワードを忘れた場合]を選択します。ボタンを選択すると、パスワードの確認ページに移動します。パスワードの入力欄にメールアドレスを入力すると、パスワードをリセットするためのリンクが送信されます。
- Webサイト（www.lgapstv.com）のLGアカウント→パスワードの再設定で、パスワードをリセットすることもできます。


コンテンツのトラブルシューティング

製品の使用中に次の症状が発生した場合は、以下を確認してください。
故障ではない可能性があります。

ホームにコンテンツが表示されない。

- サービス対象国の設定が変更されていると、コンテンツを視聴できないことがあります。


 (クイック設定) →  → [機器設定] → [システム] → [地域設定] → [サービス対象国]で使用する国を変更します。(一部のモデルはサポートされないことがあります。)

- 一部のアプリが表示されない場合は、アプリを削除したことが原因と考えられます。必要なアプリを再度インストールしてください。
- アプリを削除した場合、[アプリ]でアプリをダウンロードして、再インストールできます。 → [アプリ]で目的のアプリを検索し、インストールします。
- 対応するコンテンツの種類は、国によって異なります。
- 提供コンテンツはサービスプロバイダーにより変更・中断される場合があります。

ウェブブラウザのトラブルシューティング

製品の使用中に次の症状が発生した場合は、以下を確認してください。
故障ではない可能性があります。


インターネットの使用時に、特定のWebサイトで表示されない部分がある。

- ウェブブラウザではHTML5メディアのみがサポートされます。フラッシュプラグインには対応していません。
- ウェブブラウザでは、プラグインのインストールをサポートしていません。
- ウェブブラウザでは、以下の形式以外のメディアファイルを再生できないことがあります
：JPEG/PNG/GIF
- 添付ファイルや画像は保存できません。
- [広告ブロックの使用]機能をオンにすると、Webサイト上で広告が表示されている部分が空白になります。ウェブサイトのコンテンツの一部がブロックされて表示されない場合は、[ウェブブラウザ]で、 → [設定] → [広告ブロックの使用]を[オフ]に設定してみてください。[広告ブロックの使用]を[オフ]に設定していても、新規タブページの[スポンサー広告]は表示されます。

あるWebサイトにアクセスするとウェブブラウザが自動的に終了する。

- Webサイトの画像情報に対応できる十分なサイズのメモリが使用可能でない場合、ウェブブラウザが強制終了することがあります。PCで問題のあるサイトにアクセスできるかどうかを確認します。

ウェブブラウザでビデオを視聴しているとき、ビデオが強制的にオフになる。

- [ウェブブラウザ]で  → [設定] → [JavaScriptを使用したアダプティブストリーミング]を[オフ]に設定して、これを修正できる場合があります。設定は変更前に開いたタブに適用されず、変更後に開いたタブにのみ適用されます。

付帯情報

サポートされている写真ファイル

ファイルタイプ	形式	解像度
jpeg、jpg、jpe	JPEG	最小：64 x 64 最大 標準タイプ：15360 (W) x 8640 (H) プログレッシブタイプ：1920 (W) x 1440 (H)
png	PNG	最小：64 x 64 最大：5760 (W) x 5760 (H)
bmp	BMP	最小：64 x 64 最大：1920 (W) x 1080 (H)

サポートされている動画ファイル

最大データ転送速度

- フルHD動画
H.264 1920 x 1080@60P BP/MP/HP@L4.2 (最大40 Mbps)
HEVC 1920 x 1080@60P Main/Main10@L4.1 (最大40 Mbps)
- ULTRA HDビデオ (ULTRA HDモードのみ)
H.264 3840 × 2160@30P BP/MP/HP@L5.1 (最大50 Mbps)
HEVC 3840 × 2160@60P Main/Main10@L5.1 (最大60 Mbps)

サポートされている外部字幕

smi、srt、sub (MicroDVD、SubViewer 1.0/2.0)、
ass、ssa、txt (TMPlayer)、psb (PowerDivX)、dcs(DLP Cinema)

サポートされている埋め込み字幕形式

- Matroska (mkv): Sub Station Alpha (SSA)、Advanced Sub Station Alpha (ASS)、SRT
- MP4 (mp4): タイミングが設定されたテキスト

サポートされている動画コーデック

拡張子	コーデック	
asf wmv	動画	VC-1アドバンスドプロファイル（WMVAを除く）、VC-1シンプルおよびメインプロファイル
	音声	WMA Standard（WMA v1/WMA音声を除く）
avi	動画	Xvid（GMCを除く）、H.264/AVC、Motion Jpeg、MPEG-4
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III（MP3）、Dolby Digital、LPCM、ADPCM
mp4 m4v mov	動画	H.264/AVC、MPEG-4、HEVC、AV1
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、MPEG-1 Layer III（MP3）、Dolby AC-4、MPEG-H 3D Audio
3gp 3g2	動画	H.264/AVC、MPEG-4
	音声	AAC、AMR-NB、AMR-WB
mkv	動画	MPEG-2、MPEG-4、H.264/AVC、VP8、VP9、HEVC、AV1
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM、MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III（MP3）
ts trp tp mts	動画	H.264/AVC、MPEG-2、HEVC
	音声	MPEG-1 Layer I/II、MPEG-1 Layer III（MP3）、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM、Dolby AC-4
mpg mpeg dat	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III（MP3）
vob	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	Dolby Digital、MPEG-1 Layer I、II、DVD-LPCM

- Dolby AC-4、MPEG-H 3D Audio：一部のモデルはサポートされないことがあります。

動画の再生に関する注意事項

- ユーザーが作成した字幕は正常に動作しないことがあります。
- 動画ファイルと字幕ファイルは同じフォルダーに保存してください。また、字幕を正しく表示するには、動画ファイルと字幕ファイルの名前を同じにする必要があります。
- メーカーやモデルによっては、ネットワーク接続ストレージ (NAS) デバイス上の字幕がサポートされていない場合があります。
- Global Motion Compensation (GMC) およびQuarterpel Motion Estimation (Qpel) が含まれているストリームはサポートされません。
- ULTRA HDビデオ (ULTRA HDモードのみ) : 3840 x 2160、4096 x 2160 LG Electronicsから正式に配布されたコンテンツでない場合、HEVCでエンコードされたULTRA HD動画が再生されないことがあります。一部のコーデックは、ソフトウェアのアップグレード後にサポートされます。

拡張子	コーデック	
mkv mp4 ts	動画	H.264/AVC、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC

- Window Media Audio V7以降のみがサポートされています。
- AACメインプロファイルはサポートされていません。
- 一部のエンコーダで作成された動画ファイルは再生できないことがあります。
- 指定されている形式とは異なる動画ファイルは正常に再生できないことがあります。
- 高速転送をサポートしないUSBストレージデバイスに保存されている動画ファイルは、正常に再生できないことがあります。

サポートされる音楽ファイル形式

ファイルタイプ	項目	情報
mp3	ビットレート	32 kbps～320 kbps
	サンプル周波数	16 kHz～48 kHz
	サポート	MPEG-1、MPEG-2
	チャンネル	モノラル、ステレオ
wav	ビットレート	-
	サンプル周波数	8 kHz～96 kHz
	サポート	PCM
	チャンネル	モノラル、ステレオ
ogg	ビットレート	64 kbps～320 kbps
	サンプル周波数	8 kHz～48 kHz
	サポート	Vorbis
	チャンネル	モノラル、ステレオ
wma	ビットレート	128 kbps～320 kbps
	サンプル周波数	8 kHz～48 kHz
	サポート	WMA
	チャンネル	最大6チャンネル
flac	ビットレート	-
	サンプル周波数	8 kHz～96 kHz
	サポート	FLAC
	チャンネル	モノラル、ステレオ

- サンプル周波数によってサポートされるチャンネルの数は異なります。

メモ

